

# 若者の地方体験交流の ご案内（2018年度版）



地域づくり

田舎暮らし

仕事体験

おいしい空気、きれいな水

第2のふるさとづくり

国土交通省 国土政策局 地方振興課

国交省HPはこちら→



URL: [http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd\\_chisei\\_tk\\_000007.html](http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html)



# 募集地域一覧

国土交通省が把握した募集地域を案内するものです。

## 応募上の注意

- ここに掲載されている地域での体験に関するお問合せ、参加申込などは、各地域の担当者宛にお願いいたします。問い合わせ先は、募集要項にあります。
- 必ず希望する地域に連絡を取り、詳細（プログラム内容、受入期間、料金等）をご確認の上、直接ご応募下さい。

No.1	北海道帯広市	No.31	新潟県糸魚川市	No.61	和歌山県田辺市
No.2	北海道士別市	No.32	新潟県妙高市	No.62	和歌山県広川町
No.3	北海道鷹栖町	No.33	新潟県上越市	No.63	和歌山県有田川町
No.4	北海道新得町	No.34	富山県朝日町	No.64	鳥取県鳥取市
No.5	北海道池田町	No.35	富山県朝日町	No.65	鳥取県湯梨浜町
No.6	北海道陸別町	No.36	石川県能美市	No.66	島根県益田市
No.7	北海道標津町	No.37	福井県福井市	No.67	島根県飯南町
No.8	青森県十和田市	No.38	福井県敦賀市	No.68	岡山県津山市
No.9	青森県十和田市	No.39	福井県大野市	No.69	岡山県津山市
No.10	青森県階上町	No.40	福井県大野市	No.70	岡山県井原市
No.11	岩手県久慈市	No.41	福井県大野市	No.71	岡山県新見市
No.12	岩手県釜石市	No.42	福井県大野市	No.72	岡山県美咲町
No.13	岩手県葛巻町	No.43	福井県大野市	No.73	山口県長門市
No.14	岩手県大槌町	No.44	福井県大野市	No.74	徳島県美波町
No.15	秋田県北秋田市	No.45	福井県大野市	No.75	愛媛県今治市
No.16	秋田県小坂町	No.46	福井県大野市	No.76	愛媛県四国中央市
No.17	秋田県羽後町	No.47	福井県勝山市	No.77	高知県四万十市
No.18	茨城県高萩市	No.48	福井県おおい町	No.78	福岡県筑後市
No.19	茨城県潮来市	No.49	福井県おおい町	No.79	長崎県対馬市
No.20	茨城県茨城町	No.50	福井県若狭町	No.80	長崎県小値賀町
No.21	栃木県宇都宮市	No.51	山梨県小菅村	No.81	熊本県宇城市
No.22	栃木県宇都宮市	No.52	長野県小海町	No.82	熊本県宇城市
No.23	栃木県栃木市	No.53	岐阜県御嵩町	No.83	大分県宇佐市
No.24	栃木県小山市	No.54	静岡県静岡市	No.84	宮崎県椎葉村
No.25	栃木県那須烏山市	No.55	静岡県島田市	No.85	鹿児島県肝付町
No.26	千葉県一宮町	No.56	三重県津市		
No.27	千葉県睦沢町	No.57	三重県鳥羽市		
No.28	新潟県長岡市	No.58	京都府綾部市		
No.29	新潟県新発田市	No.59	兵庫県多可町		
No.30	新潟県糸魚川市	No.60	奈良県川上村		

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 : おびひろし 北海道帯広市 (人口: 167,597人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

・とち帯広空港 (羽田空港から約 90 分) ・JR 帯広駅 (新千歳空港駅から約 150 分)  
※とち帯広空港～JR 帯広駅間は連絡バスにて約 40 分

## (2) 事業実施の目的等

大都市圏をはじめとした全国の大学生に、日本有数の食料供給基地である十勝・帯広において、地域の基幹産業である農業の体験を通じて、十勝農業の特徴である大規模土地利用型農業への理解促進を図るとともに、農業の魅力発信、更にはリピーターによる交流人口の増大や地域農産物の販路拡大などに繋げることを目的とします。

## (3) 体験の内容

・農業体験  
日本有数の食料供給基地であり、見渡す限り広大な農地が広がる北海道十勝・帯広。その帯広市内にある受入農家においてジャガイモ、大根、長いも、ビートなどの収穫、選果、育苗など様々な農作業体験を通して、農業の大切さを理解する機会とします。

・キャリア発見プログラムへの参加  
全国各地から集まる参加者との共同生活や、農業者をはじめとした様々な関係者との交流を通じて、社会生活を送る上での自分の軸や将来のキャリアビジョンを見出す機会とします。

・観光・交流体験  
地域の観光資源やご当地グルメ、地域住民との交流を通して、十勝帯広の魅力を体感して頂きます。

## (4) 受入主体

帯広市

## (5) 受入期間

・8月～9月 : 2週間程度で複数回開催予定  
・11月、3月 : 1週間程度で各月1回開催予定  
※詳しい日程は決まり次第、下記WEBサイトでお知らせします。

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担なし 食事代: 原則自己負担なし
①要件	農作業ができる健康な方 ※男女不問です。また農作業経験がなくても大丈夫です。
②応募締切り	随時 (ご相談ください)
③宿泊施設	共同宿泊施設での受入を予定
④食事形態	基本的に宿泊施設にて自炊 ※食材等はこちらで用意します。
⑤その他	

## (7) 地域担当者から一言

・帯広市では「フードバレーとち帯」を掲げ、基幹産業である農業を中心とした地域産業の振興に取り組んでいます。雄大な大自然や美味しい食べ物の魅力はもちろんのこと、地域で働く人々が笑顔とエネルギーに溢れていることが最大の魅力だと思います。

・農家や地域の人々だけでなく、他の参加者や人材育成コーディネーターとの対話を通じて自分を見出すことができる「キャリア発見プログラム」であることも大きな特徴です。

・担当者も大学生の時に本プログラムに参加したことがきっかけで、自分の生き方やキャリアビジョンを見出しました。先輩参加者として親身な相談対応や適切なアドバイスをさせていただきますので、まずは気軽にお問い合わせください!

## (8) お問い合わせ先

自治体名 北海道帯広市	担当部署 農政部 農政課 農政係
(ふりがな) やまうち かずなり	TEL : 0155-59-2323 (直通)
担当者氏名 山内 一成	FAX : 0155-59-2448
E-mail : agri_center@city.obihiro.hokkaido.jp	
URL : <a href="https://www.facebook.com/wnoin/">https://www.facebook.com/wnoin/</a>	
応募宛先 〒089-1182 北海道帯広市川西町基線 61 番地 帯広市農業技術センター	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 : 北海道<sup>しべつし</sup>士別市 (人口: 19,914人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR士別駅 (JR札幌駅から2時間、旭川駅から1時間)
都市間バス (札幌から2時間30分)

(2) 事業実施の目的等

北海道で農業を始めたい方、農業に興味のある方に体験の機会を提供する。  
体験を通じて士別市に興味や関心を持ってもらうとともに、継続的な交流につなげる。

(3) 体験の内容

体験期間: 10日間  
体験作物: トマト、かぼちゃ、ブロッコリー、豆類、水稲

(4) 受入主体

士別市  
(士別市受け入れ農家協議会)

(5) 受入期間

4月～10月

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自費 宿泊費: 1日最大1万1千円の助成(総額7万円を限度とする) 食事代: 自費
① 要件	市外在住の市内就農に興味のある方
② 応募締切り	申込1カ月前
③ 宿泊施設	各自手配 ※あっせん可
④ 食事形態	各自手配
⑤ その他	

(7) 地域担当者から一言

天塩川の水と肥沃な大地の士別市で、農業体験をしてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 北海道 <sup>しべつし</sup> 士別市	担当部署 経済部農業振興課
(ふりがな) さいとう のぶゆき 担当者氏名 齋藤 信幸	TEL: 0165-23-3121 (直通) FAX: 0165-22-1934
E-mail: noushinka@city.shibetsu.lg.jp	
URL: http://www.city.shibetsu.lg.jp	
応募宛先 〒095-8686 北海道士別市東6条4丁目1番地	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

たかすちょう  
**No.- 3 : 北海道鷹栖町 (人口 : 6,998人)**

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

旭川空港⇒バスで約 40 分⇒JR 旭川駅⇒バスで約 35 分⇒鷹栖町役場

(2) 事業実施の目的等

- ・小規模な自治体ならではの地域コミュニティの良さを、若い人に肌で感じてもらいたい。
- ・地方ならではの“人と人がつながる仕事の魅力”を体感してもらいたい。
- ・良い意味での“よそ者&若者”として感じたことを町の活性化に取り入れたい

(3) 体験の内容

- 【しごと体験】
- ①農業分野…町内農家での農作業体験、加工体験等 (季節によって内容検討)
  - ②福祉分野…社会福祉法人と地域、行政が一体となった介護施設での就業体験
  - ③保育分野…自然を活かした保育を実践する町内私立幼稚園での就業体験
- ※その他、希望があれば受入時期に応じて地域行事への参加等も可能

(4) 受入主体

鷹栖町

(5) 受入期間

通年を通して受入可 (日数は応相談)  
 ※宿泊施設の利用状況次第で不可期間あり

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：自己負担
①要件	・田舎での暮らし、地域の人たちとの交流に興味、関心がある人
②応募締切り	随時受付中。町指定の申込書に必要事項を記入のうえ提出。
③宿泊施設	鷹栖町移住体験住宅 (町) またはゲストハウスあじさい (民間)
④食事形態	自炊
⑤その他	・農業分野を希望される方は作業に適した服装の用意が必要 ・期間中の交通手段 (バス代、レンタカー手配等) は自己負担

(7) 地域担当者から一言

「ほどよい田舎、ほどよい都会」のまち鷹栖町。有名な観光施設等はないけれど、小さい町ならではの人と人のつながりが生む“あったかすな出会い”を体感できます。まずはお気軽にお問い合わせください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 北海道鷹栖町	担当部署 総務企画課地域振興係
(ふりがな) おおうち よしたか やまもと ゆうた 担当者氏名 大内 義崇 / 山本 裕太	TEL : 0166-87-2111 (内線 120) FAX : 0166-87-2196
E-mail : kikaku@town.takasu.lg.jp	
URL : <a href="http://www.town.takasu.hokkaido.jp/ijyuu/index.html">http://www.town.takasu.hokkaido.jp/ijyuu/index.html</a>	
応募宛先〒071-1292 北海道上川郡鷹栖町南1条3丁目5番1号	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 : 北海道新得町<sup>しんとくちょう</sup> (人口: 6, 283人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR根室本線 新得駅下車 研修施設である「新得町レディースファームスクール」まで車で10分

### (2) 事業実施の目的等

農業に興味のある方が短期体験を経験し研修施設及び農業への魅力を感じてもらい、新得町レディースファームスクール長期研修生の確保を目的とする。

### (3) 体験の内容

農作業体験 (体験コース: 酪農・畑作・肉牛)  
→各体験コースいずれも受入農家での農作業体験となります。

### (4) 受入主体

レディースファームスクール協議会  
(事務局: 新得町役場産業課農政係)

### (5) 受入期間

要相談

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 往復3~4万円程度 (東京→帯広→新得) 宿泊費: 5,000円 (15日以内) 食事代: 1食500円 (研修施設にて提供します。)
① 要件	女性
② 応募締切り	要相談
③ 宿泊施設	新得町レディースファームスクール
④ 食事形態	宿泊施設での提供となります。
⑤ その他	農作業を体験していただきますので、つなぎ等が必要となります。詳しくはお問い合わせください。

### (7) 地域担当者から一言

新得町は北海道の真ん中に位置し、豊かな自然あふれる場所で農業を経験することができます。農業に興味があるけれどいきなり就農するのは自信がない方など、新得町レディースファームスクールの魅力を感じていただき長期研修生として就農への一歩を踏み出してみませんか!

### (8) お問い合わせ先

自治体名 新得町	担当部署 産業課農政係
(ふりがな) たかはし たくや 担当者氏名 高橋 拓也	TEL: 0156-64-0525 (直通) FAX: 0156-64-3450
E-mail: lfs-info@town.shintoku.hokkaido.jp	
URL: <a href="http://www.shintoku-town.jp/ladysfarm/">http://www.shintoku-town.jp/ladysfarm/</a>	
応募宛先 〒081-8501 北海道上川郡新得町3条南4丁目26番地	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

いけだまち  
No.- 5 : 北海道池田町 (人口: 6,873人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北海道 根室本線 利別駅から徒歩 12分

(2) 事業実施の目的等

- ・ 仕事内容を理解してもらいたい
- ・ 障害福祉サービスの実態を実感してほしい
- ・ 若い人の意見を聞きたい、取り入れたい。

(3) 体験の内容

障害福祉サービス事業所の仕事を通じ、地域で暮らす障がいのある方の社会参加などの援助を行います。

【就労支援センターこんぱす】 ブドウ畑の管理作業・廃油石鹼等の作成及び販売

【グループホームこんぱす】 グループホームで生活する障がい者への相談や援助

(4) 受入主体

社会福祉法人北勝光生会

(5) 受入期間

時期: 6月下旬～ 9月下旬

※期間については要相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 (グループホームの居室使用であれば自己負担なし) 食事代: 自己負担
①要件	不問 (普通自動車免許があれば尚可)
②応募締切り	4月から受入期間終了まで可
③宿泊施設	グループホームの居室利用可 (部屋代の負担はなし)
④食事形態	自炊 (全額自己負担)
⑤その他	グループホームの居室を利用する場合は、入居者に迷惑を掛けないように留意してください。

(7) 地域担当者から一言

地域で様々な分野で活動している事業所です。ここで働く皆さんはとても明るく社交的過ぎて直ぐに仲良くなれます。この機会に池田町や障害者福祉サービスを身体で感じてください!

(8) お問い合わせ先

自治体名 池田町	担当部署 企画財政課住宅対策係
(ふりがな) みやもと たかし 担当者氏名 宮本 隆史	TEL: 015-572-3112 (直通) FAX: 015-572-5158
E-mail: jyutaisaku@town.hokkaido-ikedata.jp	
URL: http://www.town.hokkaido-ikedata.jp	
応募宛先 〒083-0034 北海道中川郡池田町字利別本町27番地 社会福祉法人 北勝光生会 就労支援センターこんぱす 担当: 今野	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 6 : 北海道陸別町<sup>りくべつちょう</sup> (人口: 2,440人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR根室本線 池田駅下車 十勝バスふるさと銀河線池田バス停から陸別バス停  
女満別空港から車で約1時間10分

## (2) 事業実施の目的等

北海道への移住を目指している首都圏の大学生を対象に、日本一寒い町を全国に発信している陸別町が、基幹産業の担い手を確保するため、職業体験を通じて人材育成プログラムを実施するものです。

## (3) 体験の内容

陸別町の基幹産業である酪農・林業が抱える人材の不足への打開策の一つとして、民間企業、大学等の教育機関との連携を行う。大学・学校・旅行関係者と連携して若者の林業体験の場を提供。周知・理解を推進することで将来酪農・林業に関わる人材のすそ野を広げる。酪農、造林業、造材業を中心に「農林業体験」をしながら、職業観を養う。

## (4) 受入主体

陸別町

## (5) 受入期間

9月上旬予定  
6日間予定

## (6) 応募上の注意

※費用負担	参加者負担金2万円を予定しております。
①要件	北海道外の大学生8名予定
②応募締切り	未定(周知方法未定)
③宿泊施設	陸別町銀河の森コテージ村、陸別町ちよっと暮らし住宅予定
④食事形態	食事事付き(3食)
⑤その他	参加者8名は、選考によって決定いたします。

## (7) 地域担当者から一言

ご応募お待ちしております。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 陸別町役場	担当部署 総務課企画財政室
(ふりがな) うけがわ よしひろ 担当者氏名 請川 義浩	TEL: 0156-27-2141 (内線 215) FAX: 0156-27-2797
E-mail: kikaku_@rikubetsu.jp	
URL: <a href="https://www.rikubetsu.jp">https://www.rikubetsu.jp</a>	
応募宛先 〒089-4300 北海道足寄郡陸別町字陸別東1条3丁目1番地	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 7 : 北海道<sup>しべつちょう</sup>標津町 (人口 : 5, 3 1 2 人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

釧路駅から車やバスで120分  
最寄駅 : 標津バスターミナル(阿寒バス)

### (2) 事業実施の目的等

標津町の主な産業である漁業や農業、地域の自然や歴史文化などの地域の資源を活用し、国内外の観光客を誘致している。

### (3) 体験の内容

- ・ 漁業体験・・・朝の荷揚げ見学、セリ見学、いくらづくり、新巻鮭づくり
- ・ 北方領土学習・・・元島民の講話
- ・ 自然体験・・・カヌー、波止場釣り、溪流釣り、サーモンフィッシング、標津湿原観察、スノーシュートレッキング

### (4) 受入主体

標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会

### (5) 受入期間

随時

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 自己負担 食事代 : 自己負担
①要件	当町の産業や自然体験に興味のある方。
②応募締切り	随時
③宿泊施設	旅館・民宿などの宿泊施設を各自で手配
④食事形態	各自
⑤その他	服装は動きやすく、汚れても良い恰好でください。

### (7) 地域担当者から一言

漁業と酪農業と第1次産業が盛んで世界自然遺産知床も近いことから、雄大な自然があります。そして歴史文化も数々現在に残されています。当地域の魅力はこれらの資源を地元のガイドと交流しながら味わえることです。さまざまな視点から学びの現場としてもぜひ訪れて体感していただきたいです。

### (8) お問い合わせ先

自治体名 北海道標津町	担当部署 商工観光課
(ふりがな) あさくら かずまさ 担当者氏名 朝倉 一正	TEL : 0153-82-2131 (内線) 223 FAX : 0153-82-1787
E-mail : asakura_kazumasa@shibetsutown.jp	
URL : <a href="http://www.visitshibetsu.com/">http://www.visitshibetsu.com/</a>	
応募宛先 〒086-1632 北海道標津郡標津町北2条西1丁目1-3	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 8 : 青森県<sup>とわだし</sup>十和田市 (人口: 62,296人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

七戸十和田駅(東北新幹線) - 十和田市中央 バス停(十和田観光電鉄株) - 道の駅とわだ 匠工房  
(30分) (タクシー20分)

## (2) 事業実施の目的等

十和田市は古くからの馬産地であり、馬の飼料用作物であるデントコーンの皮の再利用のため、きみがらスリッパを製作してきました。スリッパをひと目ずつ編んでいく作業は手間がかかり、熟練者でも一日に作れるのは1足程です。

当組合員と一緒にきみがらスリッパの製作体験することで、手づくりの良さに触れることを目的としています。

## (3) 体験の内容

きみがらスリッパの製作体験 (午前10時~午後3時 ※昼休憩1時間含む)

## (4) 受入主体

十和田きみがらスリッパ生産組合

## (5) 受入期間

毎月 第3日曜日

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 料金: 3,500円 (材料費含む)
①要件	無し
②応募締切り	実施日の1週間前の事前予約が必要です。
③宿泊施設	宿泊無し
④食事形態	各自
⑤その他	

## (7) 地域担当者から一言

昭和38年3月に「十和田きみがらスリッパ生産組合」が設立し、きみがらスリッパの生産、普及、販売に努め、十和田市特産品として全国にその名を知られるに至っています。

軽くてむれない、そしてはく人の足型や体温まで覚えこむような“形状記憶”スリッパの製作体験をしてみませんか。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 青森県十和田市	担当部署 農林部 とわだ産品販売戦略課
(ふりがな) たかせ ななみ 担当者氏名 高瀬 七海	TEL: 0176-51-6746 (直通) FAX: 0176-22-9399
E-mail: kimigara2@gmail.com	
URL: <a href="http://www.city.towada.lg.jp/docs/2018021300021/">http://www.city.towada.lg.jp/docs/2018021300021/</a>	
応募宛先 〒034-8615 青森県十和田市西十二番町 6-1 十和田きみがらスリッパ生産組合 事務局 (十和田市農林部とわだ産品販売戦略課 内)	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 9 : <sup>とわだし</sup>青森県十和田市 (人口: 62,296人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

七戸十和田駅(東北新幹線) — 十和田市中央バス停(十和田観光電鉄(株)路線バス) — 十和田市役所 (30分) (徒歩10分)
---

(2) 事業実施の目的等

<p>農業体験を通じて、農作物について学ぶことや発見することの素晴らしさを分かち合いたいと考えています。</p> <p>また、自然豊かなこの地で一緒に農作業をして寝食を共にすることで、田舎の文化や知恵を学び、人と人との温かさや食の大切さを肌で感じることができるでしょう。</p>
---

(3) 体験の内容

<p>農業体験 (田植え、ニンニク・ナガイモ・ゴボウ・ネギの植え付け、収穫など)                  農家民泊</p>
--

(4) 受入主体

(5) 受入期間

十和田農業体験連絡協議会	随時
--------------	----

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	現地までの交通費: 自己負担 料金: 要相談 (例: 1泊2日、3食、農業体験(午前・午後)付 9,400円)
①要件	農業や農家生活に興味のある方
②応募締切り	随時
③宿泊施設	農家民泊
④食事形態	食事体験 (共同で調理) として提供
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

<p>当協議会では、食の大切さや心とココロのふれあいを実感できる交流体験を実施しています。野菜を収穫し、育てる現場での体験や農家での団らんを通して、ココでしかできない体験をしていただきたいと思います。</p>
--

(8) お問い合わせ先

自治体名 青森県十和田市	担当部署 農林部 とわだ産品販売戦略課
(ふりがな) たかせ ななみ 担当者氏名 高瀬 七海	TEL: 0176-51-6746 (直通) FAX: 0176-22-9399
E-mail: sanpin@city.towada.lg.jp	
URL: http://www.city.towada.lg.jp/docs/2016122800051/	
応募宛先 〒034-0011 青森県十和田市稲生町 18-33 十和田農業体験連絡協議会 事務局 (市民交流プラザ トワーレ 内) TEL: 080-8206-5608	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

はしかみちょう  
No.- 1 0 : **青森県階上町** (人口 : 1 3, 7 2 0 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

階上駅 (八戸線) — 階上町役場 (階上町コミュニティバス)  
(14分)

(2) 事業実施の目的等

農家の家に泊まり、日常的な生活や農業を体験します。

(3) 体験の内容

春の田植えから夏野菜の収穫、秋の干し柿作りに冬の豆しとぎ作りと豆腐作り体験等、春夏秋冬に合わせた体験を楽しみ、お腹も心も満たす事が出来ます。

(4) 受入主体

はしかみグリーン・ツーリズム協議会

(5) 受入期間

通年

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担 料金：1泊2日1人につき7,000円～、2泊3日1人につき12,000円
① 要件	農業や農家生活に興味のある方
② 応募締切り	随時
③ 宿泊施設	農家民泊
④ 食事形態	食事体験 (共同で調理) として提供
⑤ その他	

(7) 地域担当者から一言

生活をするような感覚で観光を楽しむ「暮らし旅」。自然と共に生きている農家の生活を見学するだけではなく、実際に四季折々に変化する農業と一緒に体験することができます。人の心にもふれあい、一生の思い出を作りましょう。

(8) お問い合わせ先

自治体名 青森県階上町	担当部署 産業振興課商工観光グループ
(ふりがな) 担当者氏名 ニコラス スワンソン	TEL : 0178-88-2875 (直通) FAX : 0178-88-2117
E-mail : nicholas_s@town.hashikami.lg.jp	
URL : <a href="http://www.town.hashikami.lg.jp/index.cfm/1,2098,2,html">http://www.town.hashikami.lg.jp/index.cfm/1,2098,2,html</a>	
応募宛先 〒039-1201 青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平1-87 はしかみグリーン・ツーリズム協議会 事務局 (階上町役場産業振興課商工観光グループ内)	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

## No.- 1 1 : 岩手県久慈市 (人口: 35,678人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京駅から二戸駅で約3時間(東北新幹線利用)  
東北新幹線二戸駅からバス(スワロー号)で約70分  
九戸ICから車で約60分

### (2) 事業実施の目的等

- ①地元の方の暖かさに触れ、久慈市のファンとなっていきたい。
- ②都会では体験できない体験をして地方に興味関心を持っていただきたい。

### (3) 体験の内容

市主催のキャンプ受入補助(グループスタッフとしてキャンプ参加者の子供たちと行動を共にする。)

### (4) 受入主体

岩手県久慈市

### (5) 受入期間

- ①7月30日(月)~8月3日(金)4泊5日
- ②1月5日(土)~1月8日(火)3泊4日

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 (東京駅~二戸駅往復 約30,000円、二戸駅~久慈駅往復 約3,000円) 宿泊費: 無料 食事代: 無料
①要件	大学生若しくは大学院生で地域活性化、野外活動等に興味関心がある方
②応募締切り	原則1ヶ月前にはお問い合わせください
③宿泊施設	内間木キャンプ場、内間木ビジターセンター
④食事形態	キャンプ参加者と共同自炊
⑤その他	動きやすい服装をご用意ください

### (7) 地域担当者から一言

久慈市は体験型観光の推進に力を注いでおります。そのため若い方の視点で新たな体験プログラム開発・改良をするための意見が必要です。また、SNSで情報発信し久慈市をPRして頂ければと思います。  
地域、世代を超えて交流の輪を広げましょう。

### (8) お問い合わせ先

自治体名 岩手県久慈市	担当部署 産業経済部 観光交流課 交流推進係
(ふりがな) はりま たくみ 担当者氏名 播磨 拓実	TEL: 0194-52-2168 (直通) FAX: 0194-75-3536
E-mail: h-takumi@city.kuji.iwate.jp	
URL: <a href="http://www.city.kuji.iwate.jp/">http://www.city.kuji.iwate.jp/</a>	
応募宛先 〒028-8030 岩手県久慈市川崎町1-1 久慈市産業経済部観光交流課交流推進係	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 2 : <sup>かまいしし</sup> 岩手県釜石市 (人口: 34,624人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線新花巻駅から鉄道で約90分(東京駅から約5時間)、東京から高速バスで約9時間

## (2) 事業実施の目的等

### ①復興・創生インターン(復興庁事業)

単なる就業体験に留まらず、被災地の企業や団体が抱えている課題に対し、経営者やリーダーと協働して解決に取り組む長期滞在実践型インターンシッププログラム。

### ②BIZ CAMP(合宿型ビジネスプランコンテスト)

地域の課題を持続可能なビジネスを通じて解決することを目的に、本気で若者が地域課題に対して事業立案し、起業や新規ビジネスの創出に繋げていくことを目指すプロジェクト。

### ③Meetup Kamaishi(観光体験プログラム)、グリーン・ツーリズム、民泊体験

市民が案内人となり、漁業や農業など豊かな大自然との触れ合いや、地域の食・歴史文化の体験、人々との交流など、多彩な体験プログラムを提供。

## (3) 体験の内容

### ①復興・創生インターン(復興庁事業)

新規事業立案をはじめ、マーケティング・広報、リサーチ・コンサルティング、企画・商品開発など多様な就業経験が可能。複数の学生が釜石に滞在するため、様々な繋がりもできます。

### ②BIZ CAMP(合宿型ビジネスプランコンテスト)

事業や資金計画の立案・作成手法を社会人メンターから学びながら、学生がチームごとに地域や企業が抱える課題に対して解決策や新たなビジネスプランを検討・発表します。

### ③Meetup Kamaishi(観光体験プログラム)、グリーン・ツーリズム、民泊体験

漁業、稲刈り、郷土料理づくり、SUP、登山等の様々な体験プログラム、震災学習、民泊体験

## (4) 受入主体

- ①(株)パソナ東北創生、NPO法人wiz、釜石市
- ②一般社団法人BIZ CAMP、釜石市
- ③釜石オープン・フィールド・ミュージアム実行委員会、釜石市

## (5) 受入期間

- ①2週間~2ヵ月(夏期、春期で募集予定)
- ②3泊4日程度(随時募集予定)
- ③Meetup Kamaishi(9~10月開催予定)  
グリーン・ツーリズム、民泊体験(随時)

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: ①往復分補助、②補助(1万円予定)、③自己負担 宿泊費: ①宿泊費不要、②参加料徴収(1万円予定)、③自己負担 食事代: ①定額支給、②参加料徴収(1万円予定)、③自己負担
①要件	①大学生・短大生等、②大学生・短大生等、③個人・団体の受入可
②応募締切り	①随時、②随時、③随時 ※①②は募集・応募締切をHP等で確認願います。
③宿泊施設	①企業等が用意する宿舍・シェアハウス等、②宿泊施設等、③宿泊施設・民泊等
④食事形態	①各自、②市内飲食店での食事、運営側で準備提供、③食事提供プログラムあり
⑤その他	③体験プログラムごとに参加料金、食事提供有無等が異なります。

## (7) 地域担当者から一言

釜石には復興の先、地域の未来を見据えた新しい挑戦に取り組む魅力的な人がたくさんいます。釜石で過ごす期間は、皆さんの人生にとってかけがえのないものとなること間違いなしです。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 釜石市	担当部署 総務企画部オープンシティ推進室
(ふりがな) あおやぎ けんじ	TEL: 0193-27-8463
担当者氏名 青柳 賢治	FAX: 0193-22-2686
E-mail: opencity@city.kamaishi.iwate.jp	
URL: ① <a href="http://www.reconstruction.go.jp/">http://www.reconstruction.go.jp/</a> ② <a href="http://bizcamp.jp/">http://bizcamp.jp/</a> ③ <a href="http://opencitykamaishi.jp/">http://opencitykamaishi.jp/</a>	
応募宛先 〒026-8686 岩手県釜石市只越町3丁目9番13号	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 3 : <sup>くずまきまち</sup> 岩手県葛巻町 (人口 : 6, 3 4 4 人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京駅から新幹線いわて沼宮内駅まで約 2 時間 30 分  
いわて沼宮内駅から葛巻町役場まで車で約 45 分

### (2) 事業実施の目的等

北緯 40 度ミルクとワインとクリーンエネルギーの町「葛巻町」の知名度を高め、特に県外の若い世代に町の自然や食文化、また人の魅力を伝え、コミュニティを拡大する。

### (3) 体験の内容

- ・くずまき型DMOを中心とした観光地域づくりプロジェクトへの参加
- ・くずまき高原牧場やくずまきワインなど町の基幹産業の見学や作業体験、イベント参加
- ・地域住民や移住者との交流
- ・その他希望に応じて

### (4) 受入主体

葛巻町

### (5) 受入期間

月 日 ( ) ~ 月 日 ( )  
※通年で、ご相談に応じます

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担（いわて沼宮内駅からの送迎あり） 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
① 要件	葛巻町の町づくりに興味がある方。
② 応募締切り	1 年を通じて随時相談に応じています。
③ 宿泊施設	①グリーンテージくずまき ②くずまき高原牧場プラトー 他
④ 食事形態	宿泊先において提供
⑤ その他	体験内容やスケジュールは、個々の希望に応じてコーディネートいたします。

### (7) 地域担当者から一言

葛巻町のリアルタイムの情報は、「いらっしやい葛巻推進室」の Facebook ページをご覧ください。実際に現地を訪れる前に、東京で行われる観光や移住交流などのイベントで葛巻町の職員と会って話を聞くこともできます。お気軽にお問い合わせください。

### (8) お問合せ先

自治体名 葛巻町	担当部署 総務企画課移住定住係
(ふりがな) 担当者氏名 遠藤 香津良	TEL : 0195-66-2111 (内線) 224 FAX : 0195-66-2101
E-mail:kuzumaki0106@town.kuzumaki.iwate.jp	
URL : http://www.kuzumaki.iwate.jp/	
応募宛先 〒028-5495 岩手県岩手郡葛巻町葛巻 16-1-1 葛巻町役場総務企画課いらっしやい葛巻推進室移住定住係	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おおつちちょう  
**No.- 1 4 : 岩手県大槌町 (人口 : 12,055人)**

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

新花巻駅～釜石駅・・・約2時間 (JR釜石線)  
 釜石駅前～大槌中央公民館入口・・・約25分 (岩手県交通バス)

(2) 事業実施の目的等

・ 町で研究し生活する中で、町に関心を持ってもらうため

(3) 体験の内容

・ 被災地で研究を行う学生を受け入れます  
 ・ 仮設住宅生活体験  
 ・ 被災地語り部ツアー・漁業体験なども可

(4) 受入主体

大槌町コミュニティ総合支援室

(5) 受入期間

2018年4月～ 随時  
 1ヶ月～1年間

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	現地までの交通費：実費 宿泊費：実費 (応相談) 食事代：実費
①要件	大学生又は大学院生で被災地でのテーマ研究・卒業研究を行いたい方
②応募締切り	滞在希望時期の1ヶ月前まで
③宿泊施設	民泊・応急仮設住宅等 (応相談)
④食事形態	自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

大槌町は岩手県三陸沿岸の小さな町です。東日本震災で一躍有名になりましたが、まだまだ復興の途上です。課題も多い町だからこそ、学生が研究できるテーマも多様にあります (防災・地域コミュニティ・建築・文化研究など)。漁師町で、ぶっきらぼうだけど人情に厚い人たちが多く、郷土芸能の盛んな町です。おいしい海の幸・山の幸も豊富です。ぜひ一度お越しください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大槌町	担当部署 民政部コミュニティ総合支援室
(ふりがな) いわみ やえこ 担当者氏名 岩見 弥生子	TEL : 0193-42-8718 (直通) FAX : 0193-42-3855
E-mail : yaeko.i@town.otsuchi.iwate.jp	
URL : http://www.	
応募宛先 〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町上町1-3	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

きたあきたし

No.-15 : 秋田県北秋田市 (人口: 33,224人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

- \* 大館能代空港: 羽田⇒大館能代着 リムジンバス (市民ふれあいプラザバス停下車) 徒歩3分で市役所
- \* JR奥羽本線: 秋田新幹線秋田駅下車 (奥羽本線下り乗換) 鷹ノ巣駅下車 徒歩8分で市役所
- \* 秋田内陸縦貫鉄道: 秋田新幹線角館駅下車 (秋田内陸縦貫鉄道乗換) 鷹巣駅下車 徒歩8分で市役所

## (2) 事業実施の目的等

通年で希望の時期や体験をオーダーメイドで提供する移住体験事業を実施しています。実際に地方移住をお考えの若い方に、雄大な自然に囲まれた暮らしや地元の人々との交流を通じて田舎暮らしを体感していただき、若者の視点による意見を参考にしたいと思います。

## (3) 体験の内容

- ・暮らし体験 (15メニュー) ※農作業、林業、溪流釣り、きのこ狩り、郷土料理調理等
- ・仕事体験 (15メニュー) ※農業、林業、建築、建設、介護、鋳物製造、旅館、スキー場等
- ・教育体験 (2メニュー) ※長期教育留学、あきたリフレッシュ学園 (不登校児)

## (4) 受入主体

北秋田市

## (5) 受入期間

随時募集 (1泊2日以上)  
ただし、先約がある場合は調整いたします

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費+宿泊費+滞在中の食事代の合計に対し、1世帯あたり5万円を上限に助成します。
①要件	現在の居住地が秋田県外 (出身は問わない) で地方移住をお考えで本市に興味のある方。20歳未満の方は保護者の同意が必要となります。
②応募締切り	体験を希望する初日の15日前までに参加申込みを完了してください。ただし、先約がある場合は調整いたします。
③宿泊施設	①移住定住ネットワークセンター (個室6室、ほか障がい者対応あり) ②市内ホテル・旅館 ※いずれかを選択
④食事形態	希望に沿った体験プログラムを事前に作成しますので、プログラム掲載の昼食や夕食はアテンドしますが、それ以外の朝食等は宿泊先が提供するものとなります。(ただし、上記①は自炊となりますので食材の持込が必要です。)
⑤その他	選択された体験に合った服装や装備をご用意ください。当方でご提示いたします。

## (7) 地域担当者から一言

マタギ発祥の地、日本三大樹氷鑑賞地の森吉山、日本の滝百選第2位の安の滝はじめ多くの瀑布や溪流などワイルドかつダイナミックな自然が売りです。市街地から車で10分程度のところに羽田空港と直結する大館能代空港があり首都圏からのアクセス至便。観光面はまだ未発達ですので、現地の人間では気づかないような活躍の場があるはず。地方移住にご興味のある若い方が北秋田市に移住し、新たな発想や視点による活躍を期待しています。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 北秋田市	担当部署 総務部総合政策課政策係
(ふりがな) みさわ さとる 担当者氏名 三沢 聡	TEL: 0186-62-6606 (直通) FAX: 0186-63-2586
E-mail: seisaku@city.kitaakita.akita.jp	
URL: http://www.city.kitaakita.akita.jp/	
応募宛先 〒018-3392 北秋田市花園町19-1	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

こさかまち

No.-16 : 秋田県小坂町 (人口: 5,235人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線盛岡駅	—	高速バス青森行き (小坂高校前下車)	—	タクシーで小坂町役場
		(90分)		(5分)

## (2) 事業実施の目的等

ぶどう栽培やそれを活かしたワイナリー、その販売などに関心のある学生に対して、町内の農家やワイン醸造委託業者などからぶどう栽培やワイン醸造について学ぶ機会を提供し、小坂町の魅力を知っていただき、町の農業振興について理解していただく。

## (3) 体験の内容

一年を通してぶどう栽培に関する作業体験 (春～夏: 一般作業、秋: 収穫や販売、冬: 剪定や雪かき)  
秋のぶどう収穫時期に合わせたワイナリーでの仕込み作業

## (4) 受入主体

小坂町観光産業課農林班、小坂まちづくり(株)  
小坂町鶉(ときと)集落の農家

## (5) 受入期間

1年を通じ随時

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担でお願いします 宿泊費: 移住体験住宅を無料でお貸しします。 食事代: 町内のスーパーなどで食材を調達し自炊でお願いします。
①要件	健康な方でぶどう栽培やワイン醸造に興味があり、情報発信できる方。
②応募締切り	随時
③宿泊施設	町中心部にある移住体験住宅
④食事形態	自炊
⑤その他	作業に必要な服装をご用意ください(作業衣、長靴など)。

## (7) 地域担当者から一言

明治期に最盛期を迎え、日本三大銅山と言われた小坂鉱山の町です。近代化産業遺産が建ち並び、周辺の市町村とは趣を異とする町の雰囲気を楽しみながら、現在町で行われているぶどう栽培とワイン醸造について体験してみませんか?

## (8) お問い合わせ先

自治体名	担当部署
秋田県小坂町	観光産業課農林班
(ふりがな) すぎはら たかひろ	TEL: 0186-29-3912 (直通)
担当者氏名 杉原 隆広	FAX: 0186-29-5481
E-mail:	
URL: <a href="http://www.town.kosaka.akita.jp/">http://www.town.kosaka.akita.jp/</a>	
応募宛先 〒017-0292 秋田県鹿角郡小坂町小坂字上谷地 4 1 - 1	
小坂町役場観光産業課農林班	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 7 : 秋田県羽後町 (人口: 15,321人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR秋田新幹線 大曲駅(東京駅より約3時間) ⇒ JR奥羽本線 湯沢駅(乗車約40分) ⇒ 公用車にて送迎(約20分)

## (2) 事業実施の目的等

前回208名の小学生が参加し、満足度ほぼ100%!  
第1回こどものまち「しごとーいうご」は、働いて、稼いで、納めて、楽しむ。実社会を凝縮した小学生のまちづくり体験イベントです!  
学力日本一の秋田県は若者の流出により、活気の損失、地域経済の疲弊など深刻な問題が起きています。羽後町では、全町を挙げたキャリア教育の推進を行うことで若者の流出対策を図っています。「しごとーいうご」はその取組みの最重要事業。中高生が発案した職業体験ブースや、はたらくくるま展示、実企業ブース、先進技術ブースなどを設け、地域の「しごと」に魅力を感じていただくとともに、社会システムに対する「問い」を持っていただくことで、地域の子ども達に町の未来で活躍してもらおう人財へと育てます。

## (3) 体験の内容

イベントスタッフとしてブースに来た小学生の見守り、会場運営の補助をしていただきます。(詳細はイベントホームページ(H30.5立上げ予定)にてご確認ください。)

## (4) 受入主体

羽後町(羽後町人口減少対策プロジェクトチーム)

## (5) 受入期間

平成30年7月27日(金)  
~平成30年7月30日(月)の4日間

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 上限3万円まで助成。 宿泊費: 自己負担(町施設利用の場合、無料。) 食事代: 自己負担(イベント当日の昼食のみ無料。)
①要件	キャリア教育に興味関心のある方、地方に貢献したいという想いがある方。
②応募締切り	6月22日(金)午後1時
③宿泊施設	原則は羽後町農林業交流施設「わか杉」へ宿泊となりますが、別途、ご自身でご用意していただいても構いません。
④食事形態	ご自身でご用意いただきます。(イベント当日7/28についてはご用意いたします。)
⑤その他	最寄駅(湯沢駅)まで送迎いたしますので発着時間をメール本文にてお知らせください。

## (7) 地域担当者から一言

“しごと”を通じて、地域の小学生や中高生・一般ボランティアと交流する機会となります。学力日本一の秋田県ですが、社会人基礎力も日本一になれるようキャリア教育の礎を築いて人口減少対策を成し遂げる一歩に皆さんのご協力をいただきたいと思います!

## (8) お問い合わせ先

自治体名 羽後町	担当部署 企画商工課 企画調整担当
(ふりがな) さとう まさかず 担当者氏名 佐藤 正和	TEL: 0183-62-2111 (内線225) FAX: 0183-62-2120
E-mail: kikaku@town.ugo.lg.jp 「しごとーいスタッフ参加希望」とタイトルにご入力願います。	
URL: http://www.town.ugo.lg.jp (イベントURL: 後日町HPで公開)	
応募宛先 〒012-1131 秋田県雄勝郡羽後町西馬音内字中野177番地 羽後町役場企画商工課	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

たかはぎし  
No.- 1 8 : 茨城県高萩市 (人口 : 2 8 , 7 0 3 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

最寄駅 : JR 常磐線・高萩駅 (東京駅より約 2 時間) ※特急乗車時  
最寄 IC : 常磐自動車道・高萩 IC (三郷 IC より約 2 時間)

(2) 事業実施の目的等

- ・高萩市を知ってもらう
- ・地域ブランド化への取り組みを知ってもらう
- ・地域を見て、意見等を言ってもらおう

(3) 体験の内容

- ・農業体験 (予定 : ほおずき収穫等)
- ・地域イベントへの参加や地域住民との交流
- ・高萩市における地域づくりへの提言

(4) 受入主体

高萩市 (地域おこし協力隊)

(5) 受入期間

8 ~ 9 月のうち 3 日程度 (予定) ※要相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 自己負担 食事代 : 自己負担
①要 件	田舎好き、中山間地域の活性化に興味がある人 など (3 ~ 1 0 名)
②応募締切り	7 月末 (予定)
③宿泊施設	民泊 (共同生活) (予定)
④食事形態	宿泊施設で自炊 (予定)
⑤そ の 他	作業ができる服装等の準備

(7) 地域担当者から一言

海あり山あり、自然に恵まれた高萩のまちで、  
人と自然が一体となる地域資源の新たな利活用を、これから一緒にはじめませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 茨城県 高萩市	担当部署 企画部 地方創生課 定住・移住推進グループ
(ふりがな) たまき かつき 担当者氏名 玉 木 雄 貴	TEL : 0 2 9 3 - 2 3 - 2 1 2 7 (直通) FAX : 0 2 9 3 - 2 3 - 3 4 5 1
E-mail : <a href="mailto:sosei@city.takahagi.lg.jp">sosei@city.takahagi.lg.jp</a>	
URL : <a href="http://www.city.takahagi.ibaraki.jp/">http://www.city.takahagi.ibaraki.jp/</a>	
応募宛先 〒318-8511 茨城県高萩市本町 1 丁目 1 0 0 番地の 1 高萩市役所 企画部 地方創生課 定住・移住推進グループ 宛	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 19 : 茨城県潮来市 (人口: 29,111人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京八重洲南口1番停留所から発車する高速バス利用→水郷潮来停留所まで約70分  
JR潮来駅から徒歩15分  
高速バス水郷潮来停留所からタクシー・車で5分

## (2) 事業実施の目的等

首都圏にはない自然の魅力を発信し、若者に地域の独自性のある体験をしていただくことで魅力ある水郷潮来への移住・地方からの通学・通勤の促進を図る事業とする。また、地域の人々と交流してもらうことで、若者ならではの情報発信の拡大に期待する。

## (3) 体験の内容

- 1) 手焼せんべい体験
- 2) 長勝寺 座禅体験
- 3) 手こぎ舟 (前川ろ舟体験)
- 4) 人力車 (車夫体験)
- 5) 花嫁道場 (華道・着付け・茶道・藍染体験)
- 6) 潮来祇園祭礼 若連体験

## (4) 受入主体

潮来市

## (5) 受入期間

8月上旬～10月下旬

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 自己負担 宿泊費： 自己負担 食事代： 自己負担
①要件	元気に体験を楽しめる方。地元愛たっぷりの住民と出逢ってみたい方。地域おこし協力隊に関心のある方。潮来暮らしを体験してみたい方。
②応募締切り	応募開催時に詳細を公表します
③宿泊施設	応募開催時に詳細を公表します
④食事形態	応募開催時に詳細を公表します
⑤その他	応募開催時に詳細を公表します

## (7) 地域担当者から一言

東京八重洲南口から10分おきに水郷潮来へのバスが出ています。70分で都内から田舎へ。水と緑に囲まれた自然豊かな潮来市に是非お越し下さい。お待ちしております。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 潮来市	担当部署 総務部 秘書政策課
(ふりがな) かわせ ゆか いしだ ゆうこ	TEL: 0299-63-1111 (内線) 212
担当者氏名 河瀬 由香・石田 有子	FAX: 0299-80-1100
E-mail: info@city.itako.lg.jp	
URL: http://www.city.itako.lg.jp/	
応募宛先 〒311-2493 茨城県潮来市辻626番地 潮来市総務部秘書政策課 移住・定住担当	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

いばらきまち

No.-20 : 茨城県茨城町 (人口: 約33,000人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

公共交通機関: 水戸駅下車 茨城交通「下石崎秋の月」停留所 (水戸駅から約60分)  
車: 北関東自動車道または東水戸道路 水戸南ICから約15分

## (2) 事業実施の目的等

ラムサール条約に登録された汽水湖「涸沼(ひぬま)」などの豊かな自然環境や田園風景の中で、農家民泊や農漁業体験を通して、茨城町の魅力を知ってもらうとともに、交流人口の拡大や地域の活性化を図る。

## (3) 体験の内容

農業体験: 季節野菜などの収穫体験, 保存食作り体験など。  
漁業体験: イカダ乗り体験, 伝統漁体験など。  
郷土文化体験: お囃子体験, 花巻寿司作り, マイ箸作り, 組子細工作りなど。  
ただし, 各体験には最少催行人員がございます。

## (4) 受入主体

ひろうら田舎暮らし体験推進協議会

## (5) 受入期間

通年

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 (滞在中の移動はご用意します) 宿泊費: 自己負担 (農家民泊体験料となります。朝食・夕食各1回の食事代金が含まれます。) 食事代: 自己負担
①要件	教育旅行ですので, 小学生以上の学生に限ります。
②応募締切り	通年 (ただし, 当協議会が受入可能な日に限りますので, お早めにお問い合わせください。)
③宿泊施設	一般家庭での民泊 (希望の家庭を指定することは出来ません。)
④食事形態	民泊される方の朝食と夕食は, 受入家庭の家族と共同調理していただくこととなります。
⑤その他	相部屋 (2~4名程度) での宿泊となります。

## (7) 地域担当者から一言

「涸沼」でのイカダ乗り体験は, ほかでは味わえない一番人気メニュー。その涸沼で獲れたシジミや魚, 町産農産物を使った地元料理は格別です。  
体験メニューは目的に合わせて自由に組み合わせることが出来ます。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 茨城県 東茨城郡 茨城町	担当部署 生活経済部 農業政策課
(ふりがな) つかもと しんじ 担当者氏名 塚本 真司	TEL: 029-240-7118 (直通) FAX: 029-292-6748
E-mail: nousei2@town.ibaraki.lg.jp	
URL: http://www.town.ibaraki.lg.jp	
応募宛先 〒311-3125 茨城県東茨城郡茨城町下石崎1560-16 ひろうら田舎暮らし体験推進協議会 事務局 TEL: 090-9646-9775 E-mail: info@hiroura.jp	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-21 : 栃木県宇都宮市<sup>うつのみやし</sup> (人口: 519,880人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR宇都宮駅 関東バス「市内循環線(きぶな)」で「市役所庁舎前」下車  
所要約20分

## (2) 事業実施の目的等

- ・市内外からの意欲ある新規就農者の確保
- ・本市農業の魅力のPR

## (3) 体験の内容

- ・本市の農業施策, 新規就農者支援制度等についての講話
- ・本市の若手農業者のほ場見学と体験談
- ・本市のベテラン農業者のほ場見学と収穫等体験(トマト, アスパラガス, いちご, にらなど)
- ・本市農業者, 関係機関等との交流会

## (4) 受入主体

公益財団法人 宇都宮市農業公社

## (5) 受入期間

平成31年2月中旬 土・日  
2日間

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 2日間の昼食, 1日目夜の夕食(交流会)は主催者負担
①要件	18歳以上で宇都宮市で将来就農を希望する意欲のある者
②応募締切り	開催年の2月中旬頃
③宿泊施設	自身で市内の宿泊施設等を確保
④食事形態	1日目 昼食 弁当 夕食 交流会(ホテル等の宴会料理) 2日目 昼食 弁当
⑤その他	作業ができる服装をご用意ください。

## (7) 地域担当者から一言

本市では、就農の3大障壁である「農地の確保」・「技術の習得」・「資金の確保」について支援するとともに、就農検討期から営農定着まで、関係機関が連携を図り切れ目ないフォローアップ体制が確立しています。ぜひ「農業王国うつのみや」で就農してみませんか。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 栃木県宇都宮市	担当部署 経済部農業企画課担い手・農地調整グループ
(ふりがな) いわた あすか 担当者氏名 岩下 あす香	TEL: 028-632-2454 (直通) FAX: 028-639-0619
E-mail: u2325@city.utsunomiya.tochigi.jp	
URL: http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp	
応募宛先 〒321-0954 宇都宮市元今泉7丁目10番20号 宇都宮市農業公社	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-22 : 栃木県宇都宮市<sup>うつのみやし</sup> (人口: 519,880人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR宇都宮駅 関東バス 仁良塚經由ろまんちっく村行 ろまんちっく村バス停

## (2) 事業実施の目的等

本市の豊かな「農」資源を活用し、癒し・やすらぎを求める都市住民のニーズに対応した農村地域と都市住民との交流事業を展開し、「農」への理解促進と農村の活性化を図る。

## (3) 体験の内容

道の駅での農産物収穫体験

## (4) 受入主体

(株)ファーマーズ・フォレスト

## (5) 受入期間

通年(ろまんちっく村休園日除く)

## (6) 応募上の注意

※費用負担	体験料: 500円
①要件	午前10時30分～, 午後1時30分～ 2回 先着20名
②応募締切り	当日受付
③宿泊施設	自身で市内の宿泊施設等を確保
④食事形態	無
⑤その他	

## (7) 地域担当者から一言

ろまんちっく村の農園で本市の農産物をご堪能ください。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 栃木県宇都宮市	担当部署 経済部観光交流課交流促進係(グループ)
(ふりがな) ふくとみ 担当者氏名 福富	TEL: 028-632-2456(直通) FAX: 028-632-5420
E-mail: <a href="mailto:u2315@city.utsunomiya.tochigi.jp">u2315@city.utsunomiya.tochigi.jp</a>	
URL: <a href="http://www.romanchikkun.com">http://www.romanchikkun.com</a>	
応募宛先 〒320-0846 栃木県宇都宮市新里町丙254番地 ろまんちっく村宛	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-23 : 栃木県<sup>とちぎし</sup>栃木市 (人口: 162,027人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR両毛線、東武日光線栃木駅から車で30分以内  
(体験場所が複数のため代表的な駅の記述です)

## (2) 事業実施の目的等

- ・農業に興味があるが、何から始めたら良いのかわからないという若者に各種農業体験をしてもらうことで、農業を知ってもらう。
- ・栃木市の農業を知ってもらい、ゆくゆくは栃木市で就農してもらいたい。

## (3) 体験の内容

- ・農作業体験 (米、ぶどう、トマト、いちご、酪農、露地野菜 (無農薬)、野菜苗)
  - ・農業経営 (体験、技術指導を含む経営学)
  - ・農業技術 (体験を含む技術指導)
- 以上3つのコースからお好きなコースをお選びいただけます。

## (4) 受入主体

栃木市内の農業士等

## (5) 受入期間

平成30年4月1日 (日) ~  
平成31年3月31日 (日)  
のうち、マッチングした7日間 (以内)

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 栃木市定住促進施設「蔵の街やどかりの家」利用相当額の補助あり 食事代: 自己負担 その他、体験場所と宿泊先の移動用レンタカーの無償貸与をいたします。 傷害保険等の加入は自己判断でお願いします。
①要件	18歳以上40歳まで
②応募締切り	平成30年3月31日必着 (郵送、FAX、メール) (募集状況によっては締切りの延長あり)
③宿泊施設	「蔵の街やどかりの家」もしくは市内民間ホテル
④食事形態	自己負担
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。 指導農家の要望により面接を行う場合もあります。

## (7) 地域担当者から一言

まずは、農業体験をしていただき、栃木市と、栃木市の農業を知ってもらいたいです。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 栃木県栃木市	担当部署 産業振興部農業振興課農政係
(ふりがな) さやま てらうち 担当者氏名 佐山 寺内	TEL: 0282-21-2381 (直通) FAX: 0282-21-2680
E-mail: <a href="mailto:nourin@city.tochigi.lg.jp">nourin@city.tochigi.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://www.city.tochigi.lg.jp/hp/menu000015000/hpg000014177.htm">http://www.city.tochigi.lg.jp/hp/menu000015000/hpg000014177.htm</a>	
応募宛先 〒328-8686 栃木県栃木市万町9番25号 栃木市役所農業振興課農政係	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おやまし  
No.-24 : 栃木県おやまし小山市 (人口: 166,760人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR小山駅 徒歩1分

(2) 事業実施の目的等

市の伝統産業であり、国重要無形文化財、ユネスコ無形文化遺産に記載(登録)された「本場結城紬」の生産振興のため、「本場結城紬」の情報発信を行う。

(3) 体験の内容

本場結城紬の地機を使用したコースター織り  
本場結城紬着心地体験

(4) 受入主体

おやま本場結城紬クラフト館  
小山市中央町3-7-1ロブレビル1F  
電話 0285-32-6477

(5) 受入期間

【コースター織り】毎月第3日曜日  
【着心地体験】毎週火曜日～日曜日(7、8月除く)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 食事代:
①要件	要予約(着心地体験は1週間前まで) コースター織り体験は、小学校及び義務教育学校3年生以上が対象
②応募締切り	未定
③宿泊施設	未定
④食事形態	未定
⑤その他	【コースター織り】体験料1,000円 一度に最大2名まで 【着心地体験】2,500円

(7) 地域担当者から一言

世界に認められた小山市の伝統工芸品「本場結城紬」の素晴らしさを実感してください!

(8) お問い合わせ先

自治体名 栃木県 <small>おやまし</small> 小山市	担当部署 産業観光部工業振興課結城紬振興係
(ふりがな) よしもり えいこ 担当者氏名 吉森 映子	TEL: 0285-22-9397 (直通) FAX: 0285-22-9685
E-mail: d-kougyo@city.oyama.tochigi.jp	
URL: <a href="http://www.city.oyama.tochigi.jp/soshiki/42/368.html">http://www.city.oyama.tochigi.jp/soshiki/42/368.html</a>	
応募宛先 〒323-0023 栃木県小山市中央町3-7-1ロブレビル1F おやま本場結城紬クラフト館	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-25 : 栃木県那須烏山市 (人口: 27,136人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR烏山線 烏山駅下車 タクシーで20分

## (2) 事業実施の目的等

地方との体験交流を通して、地方での生活の豊かさや楽しさを発見・認識してもらう。  
それにより、地域住民の活力向上と若者との触れ合いによる事業のブラッシュアップを図る。

## (3) 体験の内容

・ホテルの観察 (7月上旬から中旬まで) ・里山散策体験  
・流しそうめん体験 (竹で台を作るところから) ・藍染体験  
等

## (4) 受入主体

一般社団法人 里山おおぎすを愛する会

## (5) 受入期間

7月1日(日) ~ 8月31日(金)  
62日間

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 在来線で東京駅からJR烏山駅まで(片道 2,590円) 宿泊費: 一泊二食 6,700円 食事代: 自炊も可
①要件	都市圏在住の大学生等で人との交流が好きな人
②応募締切り	5月31日まで(宿泊状況で対応できない場合もあり)
③宿泊施設	ほたるの里の古民家 おおぎす
④食事形態	朝夕提供 夕はBBQに変更可
⑤その他	作業ができる服装・汚れてもいい靴でご参加ください

## (7) 地域担当者から一言

地域の交流人口を増やすため、若い人の意見をお聞きしたいです。  
自然に囲まれた里山で、地域の方と触れ合いながら田舎体験してみませんか。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 栃木県那須烏山市	担当部署 まちづくり課定住推進グループ
(ふりがな) さとう あつし 担当者氏名 佐藤 篤	TEL: 0287-83-1151 (直通) FAX: 0287-83-1142
E-mail: machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp	
URL: http://www.city.nasukarasuyama.lg.jp	
応募宛先 〒321-0692 栃木県那須烏山市中央1-1-1 那須烏山市役所 まちづくり課	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-26 : 千葉県一宮町 (人口: 12,448人)  
いちのみやまち

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR上総一ノ宮駅 徒歩5分

### (2) 事業実施の目的等

- ・2020 東京オリンピックのサーフィン競技会場がある町の地域性を実感してもらいたい。
- ・東京から特急で約60分であり、首都圏への通勤も可能である。
- ・一宮町に対する若い人の意見を聞きたい。

### (3) 体験の内容

- ・地域イベントへの参加 (海開き、花火大会など)
- ・町の紹介
- ・首都圏への擬似通勤体験

### (4) 受入主体

一宮町

### (5) 受入期間

4月1日(日)～翌年3月31日(日)  
365日間

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：民泊(不要)、民宿(自己負担) 食事代：自己負担
①要件	就職を首都圏(東京駅付近・京葉線沿線・総武線快速沿線)で考えている学生
②応募締切り	体験予定日の1ヶ月前
③宿泊施設	民泊(町に応募したホストファミリー) 民宿等
④食事形態	原則、個人負担。ただし、民泊の場合は、ホストファミリーと相談
⑤その他	

### (7) 地域担当者から一言

首都圏に通勤できて、家賃も首都圏に比べるとかなり安く、しかも広い(1LDK40,000円など)です。  
海と里山に囲まれ、自分らしいライフスタイルを目指してみませんか?

### (8) お問い合わせ先

自治体名 千葉県一宮町	担当部署 企画課 企画係
(ふりがな) はじ ゆうた 担当者氏名 土師 裕太	TEL: 0475-42-2113 (直通) FAX: 0475-42-1075
E-mail: kikaku@town.ichinomiya.chiba.jp	
URL: http://www.town.ichinomiya.chiba.jp	
応募宛先 〒299-4305 千葉県長生郡一宮町一宮 2457 一宮町役場企画課	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

むつざわまち

No.-27 : 千葉県睦沢町 (人口: 7,135人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR外房線 上総一宮駅下車  
小湊鐵道バス 一宮駅バス停～13分～役場前バス停 (平日のみ運行)

## (2) 事業実施の目的等

本町では平成30年3月31日をもって廃校となる小学校の有効活用を図るため、町民は基より、県外等からの来訪者との交流、そして農村地域であることの利点を活かした施設改修を行います。活用方法の1つが農泊であり、学校という親しみやすい雰囲気と自然豊かな環境の中で、農業を体験しながら地域とのコミュニティを育むことを目的としています。

## (3) 体験の内容

「新規就農者×合宿研修」、「野菜ソムリエ研修」、「食のワークショップ」など。農業体験を通じて、農業や食、地域コミュニティの大切さを認識して頂きます。

## (4) 受入主体

(仮) 睦沢町農泊推進協議会

## (5) 受入期間

未定 (施設改修後に受け入れを開始します。詳細はお問い合わせください。)

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
① 要件	農業や食、地域コミュニティに興味のある方であれば、どなたでも参加して頂きます。
② 応募締切り	未定 (施設改修後に受け入れを開始します。詳細はお問い合わせください。)
③ 宿泊施設	廃校となる小学校を改修した施設に宿泊して頂きます。 ※平成30年度中に改修、平成31年度からは本格的な受け入れが可能です。
④ 食事形態	採れたての農産物を使った料理 (朝・昼・晩) を提供します。
⑤ その他	体験内容により、農作業ができる衣服やエプロンを持参して頂きます。 ※詳細は申し込み時にお伝えします。

## (7) 地域担当者から一言

農泊が農業を始めるきっかけになり、かつ同じ思いを持つ若い人が集まり、そこから新しいまちや文化を作ろうというコミュニティに繋がることを期待しています。農業に纏わる皆さんのアイデアを睦沢町でカタチにしてみませんか。

## (8) お問い合わせ先

自治体名：睦沢町役場	担当部署：まちづくり課政策班
(ふりがな) うえの てつ 担当者氏名 上野 哲	TEL：0475-44-2501 (直通) FAX：0475-44-1729
E-mail：seisaku@town.mutsuzawa.chiba.jp	
URL：http://www.town.mutsuzawa.chiba.jp/	
応募宛先 〒299-4492 千葉県長生郡睦沢町下之郷 1650-1 睦沢町役場まちづくり課政策班 宛	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 8 : <sup>ながおかし</sup> 新潟県長岡市 (人口 : 2 7 3 , 2 9 6 人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

長岡駅 (東京から新幹線で1時間30分、車で2時間30分 (245km))

## (2) 事業実施の目的等

大学生から、人と人が支え合う中山間地域の生活と、中越地震の被災から復興までの経験を知っていただくことで、様々な価値観があることに気づいてもらうことを目的としています。  
※中越地震被災地である長岡市の中山間地域 (小国、栃尾、川口、山古志、太田・東山地域) を中心に実施します。

## (3) 体験の内容

研究室・ゼミ・サークル・個人・グループ等、大学・学生の皆さまの様々な活動と中山間地域での滞在を、ご意向に沿う形でマッチングいたします。

中越地震の震央である川口地域にある「古民家」を滞在拠点とし、以下のような地域資源を活かして、記憶に残る体験を提供します。

\* 古民家周辺施設…体育館・野球場・多目的グラウンド・テニスコート・ゲートボール場・ピクニック広場・温泉・道の駅

\* 自然・災害関連のみどころ・学びどころ

中越メモリアル回廊 (震災伝承施設・震災遺構)

砂防堰堤・ダムなどのインフラ (ヒトが自然の中で生きるための、用・強・美を兼ね備えた建造物)

罹災者住宅 (地域の材木を用い、雪国の暮らしに必要なコミュニティーを損なわない新しい形の住宅)

棚田 (傾斜地での暮らしにおける重要な食料生産の場及び地すべりを治めるインフラ)

## (4) 受入主体

公益財団法人 山の暮らし再生機構  
※中越大地震により被災した中山間地域の復興のために、長岡市の出捐により設立された団体です。

## (5) 受入期間

通年 (応相談)

## (6) 応募上の注意

※費用負担	自己負担 : 現地までの交通費、傷害保険料 宿泊費、食事代、研修費、滞在中の移動等 (下線は1泊2日で10,000~15,000円が目安) ※内容によっては費用の補助が可能な場合があります。
①要件	・地域に迷惑をかけず、楽しく真面目に滞在出来る方 ・体験終了後に簡単なアンケートにご協力頂ける方
②応募締切り	希望日の1ヶ月前まで
③宿泊施設	古民家 (ご希望があれば別途宿泊施設もご紹介出来ます。)
④食事形態	古民家での地元食材による料理提供または自炊、地域弁当の手配も可
⑤その他	まずはお気軽にお問い合わせ下さい。 大人数にも対応しておりますが、早めにお申込みを頂けるとありがたいです。

(7) 地域担当者から一言

平成16年10月23日に発生した中越地震によって壊滅的な被害を受けた中山間地域は、コミュニティ再生に重点を置いた住民主体の復興の取り組みによって、震災以前の姿を取り戻したように見えます。しかし一方では、次世代を担う若い人たちへの震災以前の記憶の継承が危ぶまれています。

私たちは、「山の暮らし」には現代社会が忘れかけている自然観や人と人との支え合いがあることを、地域支援活動を通じて学びました。この暮らしが脈々と続いてきたからこそ、震災を乗り越えることが出来たといっても過言ではありません。

次世代を担う学生の皆さん、農的な暮らしの社会的価値や自然と人の関わりについて、現場で感じてみませんか。自然に寄り添いながら過ごす時間をオーダーメイドでサポートさせていただきます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 長岡市役所	担当部署 地域振興戦略部 地域振興班
(ふりがな) かきもと 担当者氏名 柿本	TEL : 0258-39-2260 FAX : 0258-39-2254
E-mail : gnagaoka@city.nagaoka.lg.jp	
URL :	
応募宛先 公益財団法人 山の暮らし再生機構 [担当: 臼井 (うすい)] 〒940-0062 新潟県長岡市大手通1-4-11 水野ビル3階 TEL : 0258-30-1213 FAX : 0258-30-1205 E-mail : info@yamanokurashi.jp 財団HP : <a href="http://www.yamanokurashi.jp">http://www.yamanokurashi.jp</a> やまのがっこうプロジェクトHP : <a href="https://yamanogakko.com">https://yamanogakko.com</a>	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-29 : 新<sup>しばたし</sup>潟県新発田市 (人口: 98,838人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR	東京駅⇒(上越新幹線)⇒新潟駅⇒(白新線)⇒新発田駅	最短 130 分程度
自家用車	練馬 IC⇒関越自動車道・日本海東北自動車道⇒聖籠・新発田 IC	326.8K 220 分程度

## (2) 事業実施の目的等

### 【新発田市移住体験ツアー】

参加者には、地元の人たちとの交流を通じ、地域をじっくり見て、じっくり聞いて、地域で生活することをイメージしてもらいたい。

## (3) 体験の内容

各回ともテーマを設けて農作業体験・そば打ち・和菓子作りなどのほか、冬の時期にはかんじき造りなどを実施しています。また、地域の人たちと一緒に散策をしたり、郷土料理を食べたり、地域の空き家を改装した施設で宿泊してもらったりと新発田の魅力を満喫できるものとなっております。

## (4) 受入主体

新発田市

## (5) 受入期間

平成 30 年度は 1 泊 2 日の移住体験ツアーを 4 回程度予定。(開催時期については市 HP 等でお知らせします。)

## (6) 応募上の注意

※費用負担	各回参加費 5,000 円 (集合場所までの交通費は自己負担となります。)
①要件	地域への移住に興味がある方ならだれでも OK
②応募締切り	各回開催日の 1 週間ほど前
③宿泊施設	短期滞在施設「新縁」(新発田市米倉地域)
④食事形態	受入地域で提供
⑤その他	防寒着、長靴、寝間着、着替え、タオル、歯ブラシ等の洗面用具、保険証などを準備してください。(各回で別途連絡します。)

## (7) 地域担当者から一言

～田舎で自分らしく生きるライフスタイルを覗いてみよう～

当ツアーはしばたで暮らす『人』『自然』『食』など、田舎のライフスタイルを覗く移住体験ツアーです。

城下町の風情を残しながら、広がる田園風景、豊かな自然と熱い人との交流です。興味のある方はまずお気軽にお問い合わせください。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 新発田市	担当部署 みらい創造課 定住促進室
(ふりがな) やまぐち ほその ますい 担当者氏名 山口・細野・増井	TEL : 0254-28-9531 (直通) FAX : 0254-22-3110
E-mail : teijyu@city.shibata.lg.jp	
URL : <a href="https://www.city.shibata.lg.jp">https://www.city.shibata.lg.jp</a>	
応募宛先 〒957-8686 新潟県新発田市中心町 3-3-3	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-30 : <sup>いといがわし</sup>新潟県糸魚川市 (人口: 43,618人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸新幹線 糸魚川駅下車

(2) 事業実施の目的等

事業名: 田舎体験&移住体験プラン「ゆるっと糸魚川暮らし」  
目的: 住民とのふれあいを通じて糸魚川での暮らしを体験してもらい、移住促進につなげる  
こと。

(3) 体験の内容

毎月1回週末に1泊2日で実施。  
北陸新幹線糸魚川駅集合・解散。

(4) 受入主体

糸魚川市

(5) 受入期間

4月から3月まで

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費:【参考】北陸新幹線 東京=糸魚川 約22,000円 宿泊費: 素泊まり1,000円+税で利用いただけます。 食事代: 全額自己負担 参加費: 体験内容により違いますがおおむね1,200円~5,000円
①要件	田舎暮らしに興味のある人限定。
②応募締切り	毎月の実施日の15日前
③宿泊施設	民泊 (宿の食事代は自己負担)
④食事形態	1日目 昼: 市内飲食店で各自、夜: 宿泊施設または市内飲食店で各自 2日目 朝: 宿泊施設で各自、昼: 市内飲食店で各自
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

田舎での暮らしがどんなものか、知りたい方にはおすすめです。  
参加人数が1人でも実施します。

(8) お問い合わせ先

自治体名 糸魚川市	担当部署 いといがわ暮らし相談ワンストップ窓口
(ふりがな) はせがわ ちえ 担当者氏名 長谷川 知映	TEL: 025-552-1511 (内線) 2426 FAX: 025-552-8955
E-mail:	
URL: <a href="http://www.city.itoigawa.lg.jp/dd.aspx?menuid=6226#itemid17025">http://www.city.itoigawa.lg.jp/dd.aspx?menuid=6226#itemid17025</a>	
応募宛先 〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮1-2-5 糸魚川市役所4階 糸魚川市企画定住課	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

いといがわし  
No.-3 1 : **新潟県糸魚川市** (人口: 43,618人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸新幹線 糸魚川駅下車 糸魚川バス(西海線) 水保バス停

(2) 事業実施の目的等

事業名: 糸魚川 雪かき道場(仮称)  
目的: 安全な除雪や屋根雪おろしの方法を会得する座学・体験を通じて、都市住民と市民の交流を促進する。

(3) 体験の内容

座学: 初級、中級に分かれて安全な除雪・屋根雪おろしについて学ぶ  
体験: 初級は地上での除雪、中級は屋根雪おろしと実際に積雪のある地区へ行き実践する。  
交流会: 西海地区住民と参加者との交流会。

(4) 受入主体

糸魚川市、西海地区公民館

(5) 受入期間

2月上旬 1泊2日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費:【参考】北陸新幹線 東京=糸魚川 約22,000円 宿泊費:1泊2日(食事代込み)7,000円程度 食事代:—
①要件	真剣に除雪・屋根雪おろしの方法を会得すること。 作業ができる服装で参加すること。
②応募締切り	実施日の2週間前
③宿泊施設	民宿泊または民泊
④食事形態	1日目の昼食は各自、 1日目夕食・2日目朝食・2日目昼食は主催者で提供
⑤その他	宿泊は男女別相部屋

(7) 地域担当者から一言

雪国暮らしの必須スキル「雪かき」について、地元住民と交流しながら学びます。

(8) お問合せ先

自治体名 糸魚川市	担当部署 総務部企画定住課地域振興係
(ふりがな) すぎもと はるたか 担当者氏名 杉本 晴一	TEL:025-552-1511(内線)2423 FAX:025-552-8955
E-mail:	
URL: <a href="http://www.city.itoigawa.lg.jp">http://www.city.itoigawa.lg.jp</a>	
応募宛先 〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮1-2-5 糸魚川市役所4階 糸魚川市企画定住課	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-32 : <sup>みょうこうし</sup>新潟県妙高市 (人口: 33,073人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

北陸新幹線「上越妙高駅」で乗り換え、えちごトキメキ鉄道妙高はねうまライン「新井駅」で下車

(2) 事業実施の目的等

- ・ 妙高市の魅力を知ってもらいたい。
- ・ 若い人から妙高市を体験してもらい、移住・定住に結び付けたい。

(3) 体験の内容

空き家見学をメインとし、スーパーや病院等を巡る必須見学ルートと、ツアー参加者の意向に応じて自由に選択できる体験メニューを組み合わせ、オーダーメイドのツアーを提供

(4) 受入主体

妙高市

(5) 受入期間

通年

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 自己負担 宿泊費： 市負担 食事代： 自己負担 (宿泊に伴う食事代は市が負担)
①要件	新潟県外在住者
②応募締切り	通年募集
③宿泊施設	市内公共宿泊施設 (友楽里館、大滝荘) 農業体験付き民宿 (矢代、杉野沢地区)
④食事形態	朝・夕提供
⑤その他	申込み前に必ずお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

オーダーメイドツアーで妙高の良さを体感しませんか。たくさんのお問い合わせお待ちしております！

(8) お問い合わせ先

自治体名 妙高市	担当部署 建設課 移住・定住相談窓口
(ふりがな) このうら しょうこ 担当者氏名 木浦 笙子	TEL : 0255-74-0025 (直通) FAX : 0255-73-8206
E-mail : kensetsu@city.myoko.niigata.jp	
URL : <a href="http://www.city.myoko.niigata.jp/">http://www.city.myoko.niigata.jp/</a>	
応募宛先 〒944-8686 新潟県妙高市栄町5番1号	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 3 3 : <sup>じょうえつし</sup>新潟県上越市 (人口: 195,200人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸新幹線 上越妙高駅

## (2) 事業実施の目的等

上越市では、高等学校を卒業し、市外に進学した学生が地元の企業に就職しやすい環境を整えるとともに、学生等の就職意識の啓発と市内定着を図るため、市内のインターンシップ受入事業所の情報をホームページ「上越市インターンシップ」とFacebookで発信し、インターンシップを推進しています。

## (3) 体験の内容

上越市内の事業所でのインターンシップ

## (4) 受入主体

上越市内の96事業所(平成30年1月現在)  
ホームページ「上越市インターンシップ」掲載

## (5) 受入期間

ホームページ「上越市インターンシップ」に  
各事業所別に掲載

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担を基本とします 宿泊費: 自己負担を基本とします 食事代: 自己負担を基本とします ※詳しくは、インターンシップ受入事業所に確認ください。
①要件	大学生等で上越市内の事業所でインターンシップを体験したい人
②応募締切り	ホームページ「上越市インターンシップ」に各受入事業所別に掲載
③宿泊施設	インターンシップ受入事業所に確認ください
④食事形態	インターンシップ受入事業所に確認ください
⑤その他	ホームページ「上越市インターンシップ」に各受入事業所別に掲載

## (7) 地域担当者から一言

インターンシップを考えているあなたへ。上越市で未来の自分を発見!

ホームページアドレス  
<http://www.j-internship.jp/>



Facebook アドレス  
<https://www.facebook.com/joetsu.internship>



## (8) お問い合わせ先

自治体名 上越市	担当部署 産業観光部 産業振興課 金融・労働係
(ふりがな) たまい ともこ 担当者氏名 玉井 智子	TEL: 025-526-5111 (内線) 1755 FAX: 025-526-6113
E-mail: sangyou@city.joetsu.lg.jp	
URL: <a href="http://www.j-internship.jp/">http://www.j-internship.jp/</a>	
応募宛先 (1) インターンシップ受入事業所へ直接申込み (2) インターンシップホームページから申込み	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

あさひまち  
**No.-34 : 富山県朝日町 (人口: 12,294人)**

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

あいの風とやま鉄道「泊駅」

(2) 事業実施の目的等

田舎暮らしを体験してほしい。  
移住・定住につながってほしい。

(3) 体験の内容

【とやま帰農塾 笹川塾】  
移住交流体験施設に宿泊。  
地元の方・移住者の方との交流会。  
薬草・山菜採り、ワサビ畑管理、地の物を食べる。  
(薬草・山菜の天ぷら、よもぎ餅、薬草茶、ジビエ料理など)

(4) 受入主体

富山県朝日町笹川地区

(5) 受入期間

6月1日(金)～ 6月3日(日)  
3日間

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	現地までの交通費：個人負担 宿泊費：参加費に含まれる 食事代：参加費に含まれる (参加費：学生 10,000円)
①要件	田舎暮らし体験をしてみたい方、田舎暮らし・移住・定住に関心のある方
②応募締切り	5月中旬
③宿泊施設	さゝ郷ほたる交流館(移住交流体験施設)
④食事形態	昼・夕は提供。朝食は自炊(食材は提供)。
⑤その他	作業ができる服装を用意して下さい。

(7) 地域担当者から一言

小さな清流の里で、自然暮らしの第一歩を踏み出してみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 グリーンツーリズムとやま	担当部署
(ふりがな) 担当者氏名	TEL : 076-482-3161 FAX : 076-482-3635
E-mail : info@gt-toyama.net	
URL : http://gt-toyama.net/	
応募宛先 〒930-0094 富山県富山市安住町3-14 富山県建設会館4F	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

あさひまち

No.-35 : 富山県朝日町 (人口: 12,294人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

あいの風とやま鉄道「泊駅」または JR 新幹線「黒部宇奈月温泉駅」  
いずれも駅までお迎えにあがります。

## (2) 事業実施の目的等

他者との繋がりが濃い農村の文化は、都会の方からすると「異世界」とも思えるような文化かもしれません。①知識だけの異文化(農村・農業)について、体験を通じてより深く理解してもらうこと。②今まで「周りから問題提起されている」事柄に対し、「自分なりの問題提起(気付き)」と「解決策の提案」を体験することで、自らの世界を広げてもらうことを目的としています。

## (3) 体験の内容

【農業インターンシップ】  
各受入農家で実際の農業を体験してもらいます。  
また、朝日町の文化も体験してもらい、最終日には朝日町の農業についての課題と、その解決策を発表してもらいます。

## (4) 受入主体

富山県朝日町

## (5) 受入期間

8月23日(木)～ 8月30日(水)  
7日間

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：個人負担 宿泊費：費用負担なし。(個人的な飲食物、嗜好品は個人負担です。) 食事代：同上
①要件	農業に興味がある方、地方創生に興味がある方
②応募締切り	6月末日
③宿泊施設	各受入れ農家 or 町内宿泊施設
④食事形態	基本的に全食提供。一部自炊あり(食材は提供)。
⑤その他	農作業ができる服装を用意してください。発表用にPCも用意願います。

## (7) 地域担当者から一言

就農を考えている方、田舎暮らしに興味がある方、地方創生に興味がある方、このインターンシップではすべて体験できます。ぜひ一度、朝日町におこしてください。  
新しい「田舎の家族」があなたを待っています。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 富山県朝日町	担当部署 農林水産課 農業水産振興係
(ふりがな) うおづ たかあき 担当者氏名 魚津 孝明	TEL : 0765-83-1100 (内線 233) FAX : 0765-83-1109 (代)
E-mail : nousui@int.town.asahi.toyama.jp	
URL : http://www.town.asahi.toyama.jp	
応募宛先 〒939-0793 富山県下新川郡朝日町道下1133	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

### No.-36 : 石川<sup>のみし</sup>県能美市 (人口: 50,152人)

#### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 能美根上駅下車 コミュニティバス (のみバス) 能美市役所バス停  
能美根上駅からコミュニティバスで30分

#### (2) 事業実施の目的等

- ・若い人の就職先として地域のものづくり企業 (製造業) を知ってほしい。
- ・若い人の移住・交流先として地域を知ってほしい。

#### (3) 体験の内容

- ・地域のものづくり企業訪問、従業員から会社の説明 (事業内容、就職情報等)
- ・地域の暮らし体験 (スーパー、ドラッグストア、農産物の直売所訪問)
- ・地域の住環境見学 (地域おこし協力隊のお宅訪問)

#### (4) 受入主体

能美市

#### (5) 受入期間

11月中旬～12月下旬  
(企業研究フェア時期前後の予定)

#### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: (日帰りのためなし) 食事代: 自己負担
①要件	能美市内企業への就職に興味のある大学生及び大学院生
②応募締切り	開催日1週間前 必着
③宿泊施設	(日帰りのためなし)
④食事形態	昼食 市内飲食店 (自己負担)
⑤その他	現地での移動に係る交通費は無料です。 詳細は能美市ホームページにて掲載します。

#### (7) 地域担当者から一言

能美市は野球殿堂入りした松井秀喜さんの出身地。小松精練、東振精機、タガミ・イーエクス等、国内・海外に展開するものづくり企業が集まるまちへ就職、移住・交流しませんか。

#### (8) お問い合わせ先

自治体名 能美市	担当部署 企画振興部地域振興課
(ふりがな) なかにし まい 担当者氏名 中西 舞	TEL: 0761-58-2212 (直通) FAX: 0761-58-2291
E-mail: <a href="mailto:chiiki@city.nomi.lg.jp">chiiki@city.nomi.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://www.city.nomi.lg.jp/nomism/index.html">http://www.city.nomi.lg.jp/nomism/index.html</a>	
応募宛先 〒923-1297 石川県能美市来丸町1110番地 能美市役所地域振興課 (定住促進担当)	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-37 : 福井県<sup>ふくいし</sup>福井市 (人口: 265,246人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 福井駅  
 (福井駅までのアクセス 東京から約3時間30分、大阪から約1時間50分、名古屋から約2時間)

(2) 事業実施の目的等

福井市内の企業訪問やU・Iターン者との座談会等を通して、福井で働くことや暮らすことのメリットを学び、主体的な立場でアイデアプランを作成することで、福井市へのU・Iターン就職を強く意識してもらい、福井市へのU・Iターン就職を促進する。

(3) 体験の内容

1 市内企業訪問や企業経営者との座談会  
 2 福井市へのU・Iターン者との座談会  
 1、2で学んだことを基に福井市へのU・Iターン就職促進等に関するプランを企画し発表します

(4) 受入主体

(5) 受入期間

ふくいU・Iターンサマーキャンプ実行委員会

8月下旬~9月上旬  
 のうちの5泊6日の合宿形式

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：福井県外に居住する学生について一部補助 宿泊費：無料 食事代：自己負担
①要件	福井で就職することに関心のある大学生（就職内定者除く）
②応募締切り	8月上旬（予定）
③宿泊施設	市内宿泊施設（主催者が用意します）
④食事形態	自己負担
⑤その他	参加を希望される方はいつでもお問い合わせ先へ連絡してください。

(7) 地域担当者から一言

これまでの参加者からは「就職は『福井でもいい』が『福井がいい』に変わった」、「これからの就活に役立つ考え方が得られた」「ふだんの生活では出会えない出会いや刺激があった」等の感想をいただいています。今年の夏は福井について見たり考えたりしてみませんか。皆様のご参加をお待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 福井市	担当部署 商工労働部しごと支援課
(ふりがな) きむら たかひろ 担当者氏名 木村 貴弘	TEL : 0776-20-5321 (直通) FAX : 0776-20-5738
E-mail : shigoto@city.fukui.lg.jp	
URL : http://fukuisummerncamp.wixsite.com/fukui	
応募宛先 〒910-0858 福井県福井市手寄1丁目4-1 アオッサ5F 福井市商工労働部しごと支援課	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-38 : 福井県敦賀市<sup>つるがし</sup> (人口: 66,539人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 敦賀駅下車 敦賀市コミュニティバス 市役所前バス停  
※中池見湿地へは敦賀駅から徒歩 30 分もしくはコミュニティバス東郷線 (要事前予約) で 10 分、自動車であれば北陸自動車道敦賀 IC から 5 分

### (2) 事業実施の目的等

- ・中池見湿地の環境保全に協力をいただきたい。
- ・中池見湿地の地域資源としての活用方法について意見を聞きたい。
- ・中池見湿地の特異な地形や生物多様性を利用する研究活動を支援したい。

### (3) 体験の内容

- ・湿地の特徴についてのガイド付き案内
- ・水田環境維持作業、外来種防除作業 (外来植物、アメリカザリガニなど)
- ・湿地内の希少な動植物に関する情報と研究用サンプルの提供

### (4) 受入主体

中池見湿地保全活用協議会  
(事務局: 敦賀市環境廃棄物対策課)

### (5) 受入期間

通年 (要事前申請)

### (6) 応募上の注意

※費用負担	自己負担
①要件	環境保全活動・地域振興のいずれかに興味のある方、もしくは研究分野を中池見湿地で活かせる方
②応募締切り	来園の1ヶ月前 (下記担当者までメールもしくは電話にてご連絡下さい)
③宿泊施設	町施設、民宿等
④食事形態	自己負担
⑤その他	長靴・汚れても良い服装をご用意下さい。 (長靴は貸し出しも可能です)

### (7) 地域担当者から一言

中池見湿地は広さ 25ha ほどの小さな湿地ですが、世界有数の厚さの泥炭層を持ち、絶滅危惧種を含む三千種もの動植物が生息するなど豊かな生物多様性を備えており、ラムサール条約にも登録されています。敦賀市では、この湿地を後世に残すべく保全活用を進めております。ぜひお力をお貸し下さい。

### (8) お問い合わせ先

自治体名 敦賀市	担当部署 市民生活部 環境廃棄物対策課 環境政策係
(ふりがな) わだ しんじ 担当者氏名 和田 真司	TEL: 0770-22-8121 (直通) FAX: 0770-22-6042
E-mail: kanhai@ton21.ne.jp	
URL: <a href="http://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/cityhall-facility/shiyakusho_shisetsu/himinsekatsubu/tsurugakankyouhaikib.html">http://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/cityhall-facility/shiyakusho_shisetsu/himinsekatsubu/tsurugakankyouhaikib.html</a>	
応募宛先 〒914-8501 福井県敦賀市中央町2丁目1番1号	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おおのし  
No.-39 : 福井県大野市 (人口: 33,893人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車、京福バス 大野六間バス停下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・大野にUターンし起業した方の生の声を聞いて移住を検討する際の参考にしてほしい

(3) 体験の内容

- ・コーヒー店での接客 など

(4) 受入主体

モモンガコーヒー  
(<https://www.momongacoffee.com/>)

(5) 受入期間

随時 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	自己負担
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

大野にUターンした店主が営む、大野の水で淹れたこだわりのコーヒーを提供する落ち着いた雰囲気のお店です。田舎での起業やコーヒー店の起業に興味のある方におすすめです!

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: <a href="mailto:yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp">yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://onogurashi.jp/">http://onogurashi.jp/</a>	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: <a href="mailto:ono.iju@goo.jp">ono.iju@goo.jp</a> 福井県大野市南六呂師169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-40 : 福井県大野市 (人口: 33,893人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車徒歩20分、  
 まちなか循環バス 大野高校口下車徒歩13分

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・大野にIターンし起業した方の生の声を聞いて移住を検討する際の参考にしてほしい

(3) 体験の内容

- ・古民家カフェ兼ゲストハウスでの接客 など

(4) 受入主体

(5) 受入期間

Cafe & Guest house Name came Ono  
 【カフェ ナマケモノ】  
 (<http://cafenamecameono.wixsite.com/top-page>)

随時 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

大野にIターンした店主自身が大野暮らしを満喫している古民家カフェで、二階はゲストハウスになっています。地域の魅力を知ることができたり、様々なお客さんと出会えるはず。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: <a href="mailto:yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp">yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://onogurashi.jp/">http://onogurashi.jp/</a>	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: <a href="mailto:ono.iju@goo.jp">ono.iju@goo.jp</a> 福井県大野市南六呂師169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-4 1 : 福井県大野市 (人口: 33,893人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車、京福バス 大野六間バス停下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・若い人の意見や視点が知りたい
- ・大野の自然を体感し、自然を活かした活動を体験してほしい

(3) 体験の内容

- ・自然ガイド
- ・地域コンサルタント
- ・森林体験活動補助 など

(4) 受入主体

奥越前まんまるサイト  
 (http://okuetu-manmaru.com/)

(5) 受入期間

随時 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方 アウトドアが好きな方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

アウトドアが好きな方にオススメです。大野の豊かな自然を満喫しながら活動することができるメニューです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 結 <small>ゆい</small> の故郷 <small>くに</small> 創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://onogurashi.jp/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おおのし  
No.-4 2 : 福井県大野市 (人口: 33,893人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車、京福バス 大野六間バス停下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・外からの視点を取り入れたい
- ・若い人の意見や視点が知りたい
- ・大野にU I ターンした方の生の声を聞いて移住を検討する際の参考にしてほしい

(3) 体験の内容

- ・地域活性化につながるさまざまな事業の展開
- ・商品開発・観光資源創出 など

(4) 受入主体

合同会社 笑人堂  
(<http://www.syonindo.com/>)

(5) 受入期間

随時 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方 地域・農業・販売促進などのコンサルティングに興味のある方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

地域活性化のために様々な事業を展開している企業です。大野、福井ならではの食材や食品を知ることができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: <a href="mailto:yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp">yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://onogurashi.jp/">http://onogurashi.jp/</a>	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: <a href="mailto:ono.iju@goo.jp">ono.iju@goo.jp</a> 福井県大野市南六呂師169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おおのし  
**No.-43 : 福井県大野市** (人口: 33,893人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車、京福バス 大野六間バス停下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・若い人の意見や視点が知りたい
- ・大野の農業について知ってほしい

(3) 体験の内容

- ・農作物の集荷・販売 など

(4) 受入主体

一般財団法人 越前おおの農林楽舎  
(<http://www.ono-gakusya.jp/>)

(5) 受入期間

随時 3日間

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

朝採れ野菜や、農薬や化学肥料を削減したお米の販売を通し、ブランド力向上のお手伝いをしている法人です。野菜の集荷などの際には、採れたての野菜を間近に見ることができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 結 <small>ゆい</small> の故郷 <small>くに</small> 創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: <a href="mailto:yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp">yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://onogurashi.jp/">http://onogurashi.jp/</a>	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: <a href="mailto:ono.iju@goo.jp">ono.iju@goo.jp</a> 福井県大野市南六呂師169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 4 : 福井県大野市 (人口: 33,893人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車、京福バス 大野三番バス停下車

### (2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・大野にUターンし起業した方の生の声を聞いて移住を検討する際の参考にしてほしい
- ・地元ならではのこだわりを知ってほしい

### (3) 体験の内容

- ・パン屋での接客・販売 など

### (4) 受入主体

パナデリア(パン屋)

### (5) 受入期間

随時 3日間

### (6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	

### (7) 地域担当者から一言

大野にUターンした店主が営む、大野の水を使った手作りパンのお店。400年以上前に整備された城下町の面影を残す通りに面し、お店や周囲の雰囲気も楽しめます。

### (8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://onogurashi.jp/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-45 : 福井県大野市 (人口: 33,893人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車、京福バス 大野六間バス停下車

### (2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・農業を実際に体験してほしい

### (3) 体験の内容

- ・農作業・加工製造 など

### (4) 受入主体

大野市内農家

### (5) 受入期間

随時 3日間

### (6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方 元気がよく、心身ともに健康な方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	

### (7) 地域担当者から一言

除草や収穫・室内での加工作業など、時期によって内容は様々です。収穫の喜びや難しさなどを体験してみませんか。

### (8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: <a href="http://onogurashi.jp/">http://onogurashi.jp/</a>	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-46 : 福井県大野市 (人口: 33,893人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線)越前大野駅下車、まちなか循環バス 結ステーション下車

## (2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・市外に住む若い人の意見や視点が知りたい

## (3) 体験の内容

- ・特産品販売
- ・地場産食材レストランでの接客
- ・展示及びイベント施設での観光客や地元住民へのおもてなし など

## (4) 受入主体

平成大野屋  
(<http://www.h-onoya.co.jp/>)

## (5) 受入期間

随時 3日間

## (6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 5,500円 現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(移住体験施設宿泊の場合は無料) 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館 など
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	

## (7) 地域担当者から一言

アンテナショップやイベントスペースには、たくさんの観光客が訪れます。ぜひ、外の視点から見たおもてなしの工夫などを提案してください!

## (8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部政策局 結の故郷創生室
(ふりがな) ささじま ゆかり 担当者氏名 笹島 友香里	TEL: 0779-66-1111 (内線) 2513 FAX: 0779-65-8371
E-mail: <a href="mailto:yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp">yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://onogurashi.jp/">http://onogurashi.jp/</a>	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-67-1117 E-mail: <a href="mailto:ono.iju@goo.jp">ono.iju@goo.jp</a> 福井県大野市南六呂師169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-47 : 福井県勝山市 (人口: 23,756人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

えちぜん鉄道 勝山駅

### (2) 事業実施の目的等

・市内企業の魅力発見と若い人の意見の取り入れ

### (3) 体験の内容

・市内企業での企業体験プログラム  
・企業への新商品等の提言

### (4) 受入主体

勝山市  
勝山市観光まちづくり株式会社

### (5) 受入期間

8月下旬～ 9月中旬  
5日間

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：1,000円/1泊 食事代：自己負担
①要件	特になし
②応募締切り	7月末日 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、担当者まで郵送 (FAX、mail) お願いします。
③宿泊施設	勝山市お試し移住体験施設「ふるさと勝山ステイホーム」
④食事形態	自炊
⑤その他	受入企業に応じて服装等は申込み段階でご連絡申し上げます。

### (7) 地域担当者から一言

市内企業の魅力発信のため、若い方の率直な意見を求めています。あなたのセンスで勝山市の魅力を発掘してください。

### (8) お問い合わせ先

自治体名 福井県勝山市	担当部署 商工観光部ふるさと創生・移住課 移住推進グループ
(ふりがな)つばきやま ひろあき 担当者氏名 椿山 浩章	TEL : 0779-88-8130 (直通) FAX : 0779-88-1119
E-mail : iju@city.katsuyama.lg.jp	
URL : https://katsuyama-navi.jp/	
応募宛先 〒911-0806 福井県勝山市本町2丁目6-21 勝山市観光まちづくり株式会社	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-48 : 福井県おおい町<sup>ちょう</sup> (人口: 8,294人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR小浜線 若狭本郷駅下車 おおい町役場まで徒歩5分

※(名古屋方面): ~新幹線米原駅~(特急)~敦賀駅~(普通列車)~若狭本郷駅

(大阪方面): ~東舞鶴駅~若狭本郷駅

高速バス: 大阪-小浜(近鉄バス(若狭本郷駅で途中下車))

京都-東舞鶴(東舞鶴駅~若狭本郷駅はJR利用)

## (2) 事業実施の目的等

### 『おおい町まちづくり政策コンテスト』

学生の目線・感性・考え方により、おおい町のまちづくりの課題・隠れた魅力・まだ気付いていない地域資源を発見し、これまでにないまちづくりのアイデアを政策提言いただくことを狙っています。また、おおい町を一度体験いただき、観光・交流につなげたいと考えています。

## (3) 体験の内容

指定するテーマを実現する政策提言に向けての町内でのフィールドワーク

(内容は参加者が自由に設定できます。ゼミの夏合宿としての参加も歓迎)

※過去2年間の例: 農業体験、観光スポット等でのアンケート調査、有害鳥獣(ジビエ)の現地調査、空き家(見学・NPOとの意見交換等)、公的施設でのヒアリング等

## (4) 受入主体

おおい町

## (5) 受入期間

7~8月の間の指定の3日間程度(予定)

※応募が必要です。日程は公募の際に提示します。

## (6) 応募上の注意

※費用負担	8~10名程度のチーム参加を想定、チームに活動費を支給します。 (1名あたり2万円程度、現地までの交通費、宿泊費、調査費に充当可能)
①要件	・まちづくりに関心がある大学生8~10名程度でのチーム参加 ・11月に開催予定の政策発表会に参加し、プレゼンを行うこと
②応募締切り	公募を実施(おおい町HP等で案内します。(4月下旬予定))
③宿泊施設	各自対応(キャンプ場・民宿・旅館等あり)
④食事形態	各自対応
⑤その他	・応募多数の場合、事前選考を実施します。 ・28~29年度の実施状況はHPをご覧ください。

## (7) 地域担当者から一言

大学での研究成果をおおい町のまちづくりの政策提言として実践してみませんか。  
優秀なアイデアは実際に町で事業として実現しています。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 おおい町	担当部署 総合政策課
(ふりがな) おおかべ ひろし 担当者氏名 大壁 寛司	TEL: 0770-77-4051(直通) FAX: -
E-mail: seisaku@town.ohi.lg.jp	
URL: <a href="http://www.town.ohi.fukui.jp/">http://www.town.ohi.fukui.jp/</a>	
応募宛先 〒919-2111 福井県大飯郡おおい町本郷136-1-1 ※内容・応募方法はおおい町HP等で案内(4月下旬予定)します。	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-49 : 福井県おおい町<sup>ちょう</sup> (人口: 8,294人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR小浜線 若狭本郷駅下車 おおい町役場まで徒歩5分

※(名古屋方面): ~新幹線米原駅~(特急)~敦賀駅~(普通列車)~若狭本郷駅

(大阪方面): ~東舞鶴駅~若狭本郷駅

高速バス: 大阪-小浜(近鉄バス(若狭本郷駅で途中下車))

京都-東舞鶴(東舞鶴駅~若狭本郷駅はJR利用)

## (2) 事業実施の目的等

おおい町地域創生戦略に基づき、都市部(必ずしも限定的ではない)在住の若い男女(女性歓迎)に、町の一次産業を本気で体験して、ありのままの町を知っていただき、これを契機として、体験される方々の希望や要望に沿える支援を整え、町への移住や就業に結び付けたいと考えています。

## (3) 体験の内容

町外に在住する若者を対象に、一定期間(1ヶ月程度)本町に居住し、一次産業を本気で体験してもらい、町の良さや厳しさを体感してもらう。

○実施時期 H30.7月~9月(夏休み期間を想定)

○実施内容 青ネギ栽培、夏野菜等収穫、稲刈り、漁業体験等

○受入人数 3~5名

## (4) 受入主体

おおい町

## (5) 受入期間

7月~9月(予定) 10日間以上

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自費 食事代: 自費、宿泊費: 一次産業活動拠点施設の利用可能(300円/日)
①要件	町外に在住する年齢45歳未満の男女
②応募締切り	公募を予定(6月末頃に町のホームページ等でお知らせします)
③宿泊施設	施設(おおい町大島)
④食事形態	各自対応(一次産業活動拠点施設内には厨房あり)
⑤その他	応募多数の場合、選考あり

## (7) 地域担当者から一言

本事業は、単なる農業等の楽しさを知ってもらうためだけの体験事業ではなく、楽しさの他に厳しさも合わせて体験して知ってもらうことで、現実の一次産業従事の実態を体感し、将来の就労がし易い環境づくりを目指します。参加者のニーズに最大限に対応できるよう検討していきます。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 おおい町	担当部署 農林水産振興課 農政係
(ふりがな) よこえ たつお にしがき いくお 担当者氏名 横江 辰男 西郷 育男	TEL: 0770-77-4055 (直通) FAX: 0770-77-1289
E-mail: nousui@town.ohi.lg.jp	
URL: http://www.town.ohi.fukui.jp/	
応募宛先 〒919-2111 福井県大飯郡おおい町本郷 おおい町役場 農林水産振興課	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-50 : 福井県若狭町 (人口: 15,359人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・ JR小浜線 三方駅 ・ 高速バス (新宿駅・東京駅～敦賀ICほか)
- ・ 車 舞鶴若狭自動車道 若狭三方IC

## (2) 事業実施の目的等

若狭町の産業は、豊かな自然環境を活かした農業や、民宿業と兼業した漁業が中心的な地域産業となっています。しかし、人口減少や少子高齢化が進む中、産業の魅力性の変化などにより、地域産業を担う後継者が少なくなっています。そうした中で、平成23年度より女子大学生の力を借りながら一緒に課題を解決しようと「若女将インターン」に取り組み、漁業の魅力を町内外へ発信し、漁家民宿を含めた漁業関係者の後継者育成と漁村の活性化、移住・定住促進に努めています。

## (3) 体験の内容

民宿、旅館に泊まり込みで、客室の清掃や配膳、布団の上げ下ろしなどを体験すると同時に、フェイスブックやインスタグラムなどのソーシャルメディアで若狭の魅力を発信、民宿や町に対して観光PRの具体策を提案するという内容。

## (4) 受入主体

(一社) 若狭三方五湖観光協会

## (5) 受入期間

8月中の24日間

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：一部助成 民宿、旅館に泊まり込みになるため、宿泊場所、食事場所は受入宿が用意します。
①要件	18歳以上の明るく元気な方
②応募締切り	7月中
③宿泊施設	受入宿
④食事形態	受入宿で提供
⑤その他	手当の支給なし

## (7) 地域担当者から一言

若狭町は自然豊かで歴史もあり、観光資源が豊富な町です。実際の現場で就業体験を積みながら接客の礼儀・作法が学べるほか、自然の豊かさや人の温かさに触れる機会があり、漁村での暮らし、田舎での暮らしをより深く理解してもらう機会となります。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 福井県若狭町	担当部署 総合戦略課 観光交流室
(ふりがな) いまい さとみ 担当者氏名 今井 里美	TEL : 0770-45-9111 (直通) FAX : 0770-45-1115
E-mail : kankou@town.fukui-wakasa.lg.jp	
URL : http://www.town.fukui-wakasa.lg.jp	
応募宛先 〒919-1393 福井県三方上中郡若狭町中央1-1	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

こすげむら  
**No.-5 1 : 山梨県小菅村 (人口: 729人)**

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR青梅線 奥多摩駅下車	西東京バス	小菅の湯行	小菅の湯停留所 (約60分)
JR中央線 大月駅下車	富士急バス	小菅の湯行	小菅の湯停留所 (約60分)

(2) 事業実施の目的等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生と村民をつなげることで、学生にも村民にも生き生きとした時間を過ごしてほしい。</li> <li>・より多くの大学とのつながりを作り、多様な学生に村で活動してほしい。</li> <li>・若い人に小菅村の魅力を知ってほしい。</li> </ul>
--

(3) 体験の内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・神社祭典への参加</li> <li>・多摩川源流体験教室のインストラクター体験</li> <li>・その他地域行事や多摩川源流大学の実習等への参加</li> </ul>
--

(4) 受入主体

(5) 受入期間

NPO法人多摩源流こすげ	8月上旬～9月下旬 ※期間中2週間程度
--------------	------------------------

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担（新宿から電車とバスで片道2,000円） 宿泊費：不要 食事代：自己負担（下記④ 食事形態の通り）
① 要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩川源流域の地域づくりに興味があり、積極的に取り組める人</li> <li>・人とかかわることが好きな人</li> </ul>
② 応募締切り	<b>6月29日（金）必着</b> 別添の参加申込書及び小論文に必要事項を記載の上、下記応募先まで郵送にて提出してください。
③ 宿泊施設	受け入れ側が用意します。
④ 食事形態	基本的に宿泊施設で自炊。
⑤ その他	虫よけ・防寒のため長袖・長ズボンを用意してください。

(7) 地域担当者から一言

<p>小菅村は「東京から一番近い村」で周囲を豊かな自然と3つの峠に囲まれた小さな谷合の村です。陽気で働き者の村民の皆さんや村に移住した若者たち、村内で活動する大学生たちと一緒に汗を流しながら、小菅村にあなたの「居場所」を作ってみませんか。</p>
---

(8) お問い合わせ先

自治体名 小菅村	受入先 NPO法人多摩源流こすげ
(ふりがな) 担当者氏名 いしざか しんご 石坂 真悟	TEL : 0428-87-7055 FAX : 0428-87-7057
E-mail : info@npokosuge.jp	
URL : http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp 若しくは http://npokosuge.jp	
応募宛先 〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村1911番地	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-52 : <sup>こうみまち</sup>長野県小海町 (人口: 4,713人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR小海線 小海駅  
 ・北陸新幹線 東京駅から佐久平駅 (約1時間20分) → ・小海線 佐久平駅から小海駅 (約40分)

(2) 事業実施の目的等

小海町では少子高齢化、過疎化などが進行しており、“地域の担い手不足”という課題に直面しています。そこで「田舎暮らしインターンシップ」では「田舎暮らしに興味がある」「農林業を始めたい」「地域の活性化に携わってみたい」といった方たちを対象に小海町を活動の場として、この地域ならではの様々な仕事を体験してもらい、また交流を通して、地域の魅力、地域活性のヒントを感じてもらおう新たなつながりを目的とします。

(3) 体験の内容

研修期間は1期間を1週間とし、申込みは随時、受け付けます。

○農業体験 (主に白菜、レタス、キャベツ等の高原野菜各農家)  
 ・土づくり (4月～5月) ・畝立て、マルチ張り (5月) ・育苗 (4月～8月)  
 ・定植 (4月～8月) ・収穫 (6月～10月) の体験及び技術の習得

○林業体験 (森林組合)  
 ・地拵え、植え付け ・下刈り ・除伐 ・間伐 ・主伐 の体験及び技術の習得

○商業部門  
 ・パン屋  
 1 材料準備 2 生地を作る 3 第一発酵 4 分割・丸め 5 ベンチタイム  
 6 成形・型詰め 7 第二発酵 8 焼成 9 販売といった製造工程の体験及び技術の習得  
 ・他に観光宿泊業、ジャム加工者、養蜂店、飲食店、建設業等事業所などを体験してもらい、地域づくりへの提言をいただきます。

(4) 受入主体

小海町

(5) 受入期間

平成30年4月1日 (日) ~  
 平成31年3月22日 (金)  
 日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者負担 宿泊費：小海町負担 食事代：参加者負担
①要件	小海町での暮らしに興味のある方、農林商業等を体験してみたい方、地域活性化に興味のある方
②応募締切り	平成31年2月28日 (木)
③宿泊施設	民宿及び旅館
④食事形態	民宿及び旅館では、朝食、夕食は用意できますが、自己負担となります。 昼食は各自
⑤その他	作業ができる用意をしてください

(7) 地域担当者から一言

町内の農家さん、林業経営者、パン家さん・豆腐店等商業を営む店舗等の元で、小海町での仕事を体験してもらいます。高原のきれいな空気のなかで仕事をしてみませんか。小海町ではあなたのやる気と地域づくりの提言を必要としています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 小海町	担当部署 総務課 企画係
(ふりがな) いで ともよし 担当者氏名 井出 智善	TEL : (代表) 0267-92-2525 (内線) 141 FAX : 0267-92-4335
E-mail : koumi@koumi-town.jp	
URL : <a href="http://www.koumi-town.jp/">http://www.koumi-town.jp/</a>	
応募宛先 〒384-1192 長野県南佐久郡小海町大字豊里 57-1	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-53 : 岐阜県御嵩町<sup>みたけちょう</sup> (人口: 18,445人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

名古屋鉄道広見線 御嵩駅下車 徒歩約 10 分

## (2) 事業実施の目的等

- 町域の約 60%を山林が占める里山のまちで、岐阜県で唯一「環境モデル都市」に認定されています。
- 江戸時代の主要街道として栄えた中山道を歩く外国人観光客が訪れていたり、各国大使を招き地域の魅力をPRするなどインバウンドにも力を入れています。
- 町ならではの体験や地域住民との交流を通して、町について知ってもらい、移住や起業、就職などのきっかけづくりを目的としています。

## (3) 体験の内容

学生の希望に合わせて、体験を実施します。

<例>

- 農林業体験  
化学農薬・肥料に頼らず、古くから伝わる伝統的な手法を取り入れた農法などを学びます。
- 里山保全体験  
里山をフィールドにして、地域の森林を守る活動などを学びます。
- 食文化体験  
食をテーマに町おこしをされている団体との交流を図ります。岐阜県や御嵩町の歴史や文化を華やかなお寿司で表現した郷土食「みたけ華ずし」の手作り体験を実施します。
- 町内散策  
地元ボランティアガイドと共に町内の史跡を巡ります。
- 体験報告書等の提出  
地域での体験活動の報告をします。

## (4) 受入主体

御嵩町

## (5) 受入期間

8月下旬から9月上旬の平日  
5～6日間程度  
※応相談

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担 傷害保険料：自己負担
①要件	地域づくりに興味のある学生 ※公共交通機関を利用してご来町ください。
②応募締切り	電話もしくはメールでお問い合わせのうえ、参加申込書を提出してください。 定員に達した場合は、募集を締め切ります。
③宿泊施設	町内宿泊施設など ※近隣地域に在住の方は日帰り可
④食事形態	町内飲食店など
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

## (7) 地域担当者から一言

過去4年間で大阪や愛知、関東方面からのべ20名が御嵩町を訪れました。体験終了後も町でのイベントに来て頂くなど、良い繋がりを築いています。  
ぜひ町に足を運んでいただき、「御嵩町のファン」になってください。  
興味がありましたら、お問い合わせください。みなさまのご応募お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 御嵩町	担当部署 総務部 まちづくり課 まちづくり推進係
(ふりがな) ほりえ ゆか 担当者氏名 堀江 有加	TEL : 0574-67-2111 (内線 2228) FAX : 0574-67-1999
E-mail : <a href="mailto:matidukuri@town.mitake.lg.jp">matidukuri@town.mitake.lg.jp</a>	
URL : <a href="http://www.town.mitake.gifu.jp/">http://www.town.mitake.gifu.jp/</a>	
応募宛先 〒505-0192 岐阜県可児郡御嵩町御嵩 1239-1 御嵩町 まちづくり課 まちづくり推進係 あて	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-54 : <sup>しずおかし</sup>静岡県静岡市 (人口: 698,535人)



## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR東海道線 清水駅から徒歩10分程度

## (2) 事業実施の目的等

静岡に就職するか迷っている若者や、静岡のことをもっと知りたい若者を対象に、インターンシップや企業見学等、企業等へ訪問する機会を通じて、企業の魅力発見するきっかけを提供し、「若者と企業との縁結び」を行います。

## (3) 体験の内容

- 市内企業における企業見学や先輩社員との座談会

## (4) 受入主体

静岡市

## (5) 受入期間

- 8月頃インターンシップ事業実施予定
- 年間を通じて、1Dayイベントあり

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
① 要件	静岡で働くこと・暮らすことに興味のある若者(就職内定者を除く)
② 応募締切り	随時
③ 宿泊施設	特に指定なし
④ 食事形態	自己負担
⑤ その他	若者就活応援サイト「しずまっち」( <a href="https://shizumatch.jp/">https://shizumatch.jp/</a> )にて、随時、イベント情報公開中です! 申し込みもサイトからできます!

## (7) 地域担当者から一言

静岡市で働く素敵な先輩社会人と交流することで、静岡市で楽しく働く自分を想像してください! 雪は降らない、満員電車もない。そして、魅力ある企業がいっぱいあります!

## (8) お問い合わせ先

自治体名 静岡市	担当部署 経済局商工部商業労政課雇用労働政策係
(ふりがな) わたなべ ゆみえ 担当者氏名 渡邊 結実枝	TEL: 054-354-2430 (直通) FAX: 054-354-2132
E-mail: <a href="mailto:shogyo@city.shizuoka.lg.jp">shogyo@city.shizuoka.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://www.city.shizuoka.jp/">http://www.city.shizuoka.jp/</a>	
応募宛先 〒424-8701 静岡県静岡市清水区旭町6番8号 静岡市役所 清水庁舎 商業労政課	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-55 : 静岡県島田市しまだし (人口: 99,247人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR東海道線 (六合駅・島田駅・金谷駅)、静岡空港、大井川鉄道

(2) 事業実施の目的等

- ・若い人の意見を聞きたい、取り入れたい。
- ・地域を実感してほしい。

(3) 体験の内容

- ・農業体験 (茶摘体験、林業体験など)
- ・田舎料理づくり体験
- ・塩づくり体験

(4) 受入主体

NPO法人まちづくり川根の会

(5) 受入期間

5月上旬～ 3月下旬  
2日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担
①要件	普通自動車運転免許
②応募締切り	通年受付
③宿泊施設	農家民宿
④食事形態	農家民宿では朝・夕を提供
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

日本を代表する茶の産地島田市川根。きかんしゃトーマスが、茶畑の中を走る川根で農家民宿に泊まり、地域を実感してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 静岡県島田市	担当部署 地域生活部地域づくり課地域振興担当
(ふりがな) 担当者氏名 松下 弘希	TEL: 0547-36-7197 (直通) FAX: 0547-36-7815
E-mail: <a href="mailto:chiikizukuri@city.shimada.lg.jp">chiikizukuri@city.shimada.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://iju-shimada.jp/">http://iju-shimada.jp/</a>	
応募宛先 〒428-0104 静岡県島田市川根町家山1173-1 特定非営利法人NPOまちづくり川根の会	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-56 : 三重県津市 (人口: 281,127人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄名張駅下車 三重交通バス中太郎生バス停 (所要時間約45分)

## (2) 事業実施の目的等

美杉地域における豊かな自然と歴史資源、地域・民間活力を活用し、都市住民に田舎暮らし(宿泊・農作業体験・自然散策等)を体験させる「美杉の魅力発見塾」を実施することにより、定住へと繋げることを目指し、地域の活性化・津市の元気づくりの推進を図ることを目的としています。

## (3) 体験の内容

- ・農業体験 (稲作や野菜・山の幸収穫等)
  - ・セラピーロード体験
  - ・そば打ち体験
  - ・ホタル狩り体験
  - ・田舎こんにやく作り体験
  - ・美杉木工体験
  - ・町歩き (史跡めぐり)
  - ・フジバカマ畑散策 (アサギマダラ観察)
  - ・滝めぐり
- ※体験内容は一例です。

## (4) 受入主体

太郎生地域づくり協議会

## (5) 受入期間

4月 ~ 3月 (1年間)  
最大2泊3日

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担 (美杉の魅力発見塾による宿泊: お1人様5,500円(食事付))
①要件	直接たろっと三国屋へ「体験をお願いします。」とお申込みください。(要予約) お申込先: 059-273-0001
②応募締切り	水曜日(12月~3月: 水・木曜日) 営業時間10時~15時 営業時間中にお電話でお申込みください。
③宿泊施設	たろっと三国屋 (民宿 シャワー設備有)
④食事形態	自己負担 地元食材を活かした食事を提供します。
⑤その他	体験内容は予約時にご相談ください。

## (7) 地域担当者から一言

都会の喧騒からしばし離れて、自然豊かな環境に癒され、田舎ならではの体験ができます。地元食材で作られる田舎料理と、ゆっくりとした時間を満喫してください。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 津市	担当部署 津市美杉総合支所 地域振興課 地域振興担当
(ふりがな) すば まさゆき 担当者氏名 須場 督介	TEL: 059-272-8082 (直通) FAX: 059-272-1119
E-mail: 272-8080@city.tsu.lg.jp	
URL: http://www.info.city.tsu.mie.jp/	
応募宛先 〒515-3536 三重県津市美杉町太郎生 2046 番地 4 たろっと三国屋 (電話: 059-273-0001)	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-57 : 三重県<sup>とばし</sup>鳥羽市 (人口: 19,239人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄鳥羽駅、JR鳥羽駅

(2) 事業実施の目的等

漁業に関心があり漁業に取り組んでみたい学生と、人手不足で悩んでいる漁家を結びつける

(3) 体験の内容

- ・ 漁業体験
- ①アサリ養殖事業 (4月～3月)
- ②アラメ干し作業 (7月～8月)
- ③養殖わかめの加工作業 (10月～3月)
- ・ アンケート調査の実施

(4) 受入主体

鳥羽磯部漁業協同組合  
鳥羽市農水商工課・観光課

(5) 受入期間

下記の間合せ先までご連絡下さい

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	現地までの交通費：各自で負担 宿泊費：事業で負担 食事代：各自で負担
①要件	漁業に関心があり、漁業に取り組んでみたい学生
②応募締切り	下記の間合せ先までご連絡下さい
③宿泊施設	旅館又は民宿
④食事形態	各自で負担
⑤その他	作業ができる服装を用意して下さい

(7) 地域担当者から一言

三重県の鳥羽市で漁業体験をしてみませんか。  
漁業版のワーキングホリデーです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 鳥羽市役所	担当部署 農水商工課 水産係
(ふりがな) はしもと ただみ 担当者氏名 橋本 忠美	TEL : 0599-25-1167 (直通) FAX : 0599-26-2810
E-mail : <a href="mailto:suisan@city.toba.lg.jp">suisan@city.toba.lg.jp</a>	
URL : <a href="http://www.city.toba.mie.jp/">http://www.city.toba.mie.jp/</a>	
応募宛先 〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽三丁目1-1	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-58 : 京都府綾部市<sup>あやべし</sup> (人口: 32,852人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR綾部駅に下車後、市営あやバス「綾部駅南口」バス停からあやバス西坂線に乗車、「かじや(里山交流研修センター前)」バス停にて下車(所要時間約33分)

## (2) 事業実施の目的等

閉校となった小学校舎を再活用した「綾部市里山交流研修センター」を、指定管理者「里山ねっと・あやべ」が都市農村交流と地域振興に役立てています。秋には、地元の祭り「小畑祭り」のお手伝いが可能です。地元の方との交流を楽しみながら、秋の里地里山の空気を満喫してください。

## (3) 体験の内容

村祭りのお手伝い(10月)  
※神輿や獅子舞のお手伝い、記録撮影など

## (4) 受入主体

綾部市里山交流研修センター  
(里山ねっと・あやべ)

## (5) 受入期間

2018年10月中旬頃

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担 体験料: 自己負担 ※大学ゼミの予算や企業の研修予算など団体予算での参加歓迎
①要件	都市農村交流や里山再生、田舎での持続可能な暮らしに関心のある5名以上のグループ(大学生・大学院生、大学教官、ゼミ旅行、企業のCSR担当部署、里地里山や廃校活用に関心のあるNPO団体など)
②応募締切り	2018年6月末
③宿泊施設	綾部市里山交流研修センター
④食事形態	自炊
⑤その他	最小催行人員5名 上限30名 グループ(ゼミや団体)での参加を優先

## (7) 地域担当者から一言

この企画を通じて里山の価値を全身で実感し、地域住民と親しむとともに、綾部という土地の魅力に触れて、綾部の地域再生を担うサポーターになってください。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 京都府綾部市	担当部署 定住交流部観光交流課
(ふりがな) ながい なおこ 担当者氏名 永井 直子	TEL: 0773-42-4273 (直通) FAX: 0773-42-4406
E-mail: kankokoryu@city.ayabe.lg.jp	
URL: <a href="https://ayabesatoyama.net">https://ayabesatoyama.net</a>	
応募宛先 〒623-0235 京都府綾部市鍛冶屋町茅倉9番地 綾部市里山交流研修センター 里山ねっと・あやべ TEL: 0773-47-0040 FAX: 0773-47-0084 メール: <a href="mailto:contact@satoyama.or.jp">contact@satoyama.or.jp</a>	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-59 : 兵庫県多可町<sup>たかちょう</sup> (人口: 21,367人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

車: 自動車道加西 IC から約 30 分  
公共交通機関: JR 西脇市駅から神姫バスで約 30~35 分

### (2) 事業実施の目的等

多可町の自然や日本古来の伝統的な工法で建てられた家屋・地域の文化の魅力を知ってほしい。  
古民家再生の意義に触れていただくなかで、その利活用についての意見を伺いたい。  
古民家や産業遺産を利用した単発のイベントを、共に創り上げていただきたい。

### (3) 体験の内容

古民家改修、かまどを使ったご飯炊き等

### (4) 受入主体

任意団体「紡」

### (5) 受入期間

(基本的に) 毎月第3土曜日 10:00~16:00

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 500 円 (昼食 ※メニューによって変動あり)
①要件	特になし
②応募締切り	各開催日の10日前
③宿泊施設	-
④食事形態	参加者で調理
⑤その他	詳しくは任意団体「紡」HP をご覧ください。 <a href="https://takatsumugi.wixsite.com/tsumugi">https://takatsumugi.wixsite.com/tsumugi</a>

### (7) 地域担当者から一言

お気軽にご参加ください。

### (8) お問い合わせ先

自治体名 多可町	担当部署 定住推進課
(ふりがな) ささくら なおみ 担当者氏名 笹倉 尚美	TEL: 0795-32-4776 (直通) FAX: 0795-30-2201
E-mail: <a href="mailto:naomi_sasakura@town.taka.lg.jp">naomi_sasakura@town.taka.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://www.takacho.jp/iju/">http://www.takacho.jp/iju/</a>	
応募宛先 〒679-1333 兵庫県多可郡多可町加美区三谷255 代表者: 小椋 聡 (おぐら・さとし) E-mail: <a href="mailto:takatsumugi@gmail.com">takatsumugi@gmail.com</a>	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

かわかみむら  
No.-60 : 奈良県川上村 (人口: 1,313人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄電車吉野線 大和上市駅下車 やまぶきバス、(又はスマイルバス、ゆうゆうバス)  
川上村役場前下車

(2) 事業実施の目的等

- ・ 地域のために、村民の暮らしのために、ともに動き、考え、動き、その根底にある、村づくりとのつながりを体感してもらいたい。
- ・ 若者、外部の視点からの意見を聞きたい。

(3) 体験の内容

- ・ 水源地の森トレッキングと大滝ダムレクチャー、林業レクチャーへの参加。地域行事(盆踊り等)への参加と協力。村内機関でのインターン。
- ・ 最終日にインターンシップを通じて得た学生自身のネクストアクションの発表

(4) 受入主体

川上村

(5) 受入期間

8月10日(金)～8月23日(木)  
14日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 食事代：自己負担※費用相当分の補助あり
① 要件	大学生及び大学院生
② 応募締切り	平成30年6月1日(金) 受入募集人数は4名程度
③ 宿泊施設	村宿泊施設 (共同生活)
④ 食事形態	自己負担(自炊、弁当など)
⑤ その他	川上村ホームページのインターンシップページをご覧ください。 詳細は担当者にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

川上村は500年の歴史を持つ吉野林業の地で、大滝・大迫ダムと緑のダムを抱える水がめの村です。吉野川・紀の川の源流から清らかな水を流域に届け続ける村づくりをしています。過疎地域における行政の取組や地域のうごき、林業や環境保全に興味がある方をお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 奈良県川上村	担当部署 水源地課
(ふりがな) よしだ しほ 担当者氏名 吉田 志帆	TEL : 0746-52-0111 (内線) 20 FAX : 0746-52-0345
E-mail : <a href="mailto:suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp">suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp</a>	
URL : <a href="http://www.vill.kawakami.nara.jp/">http://www.vill.kawakami.nara.jp/</a>	
応募宛先 〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫 1335-7	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-6 1 : <sup>たなべし</sup>和歌山県田辺市 (人口: 75,414人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR紀伊田辺駅下車 徒歩10分

## (2) 事業実施の目的等

漁業の担い手としての定着・就業

## (3) 体験の内容

面談(受け入れ漁協・講師)  
漁業乗船(漁の準備から後片付けまで研修)

## (4) 受入主体

田辺市水産振興会

## (5) 受入期間

4月2日～2月末日まで

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	15歳以上50歳未満の方(未成年の場合は保護者の同意が必要) 真剣に漁業に就業したいと考え、専業での漁業就業を目指す方
②応募締切り	2月末日 指定の申込書及び市販の履歴書(写真添付)を事務局まで送付してください
③宿泊施設	
④食事形態	各自ご用意ください
⑤その他	着替え、タオル、カップ、長靴、軍手、弁当、飲み物など準備してください

## (7) 地域担当者から一言

漁業を職業として、地域に定着しようとする方にきっかけを提供します

## (8) お問い合わせ先

自治体名 田辺市	担当部署 農林水産部 水産課 水産係
(ふりがな) なす とよひさ 担当者氏名 那須 豊久	TEL: 0739-26-9932 (直通) FAX: 0739-22-9898
E-mail: <a href="mailto:suisan@city.tanabe.lg.jp">suisan@city.tanabe.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://www.city.tanabe.lg.jp">http://www.city.tanabe.lg.jp</a>	
応募宛先 〒646-8545 和歌山県田辺市新屋敷町1番地 田辺市役所水産課(田辺市水産振興会事務局)	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-62 : <sup>ひろがわちょう</sup>和歌山県広川町 (人口: 7,224人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JRきのくに線 湯浅駅下車 御坊南海バス 落合バス停下車 徒歩5分  
阪和自動車道 広川IC下りて約5分

## (2) 事業実施の目的等

広川町をより多くの人に知っていただきたい。一緒になって活動することによりさらに地域を知っていただきたい。なおかつ学生のフレッシュな意見を聞き入れ、取り入れたい。

## (3) 体験の内容

- ・花畑の手入れ
- ・自然公園の整備
- ・イベント等の企画、お手伝い
- ・農作業(薬草栽培)等のお手伝い

## (4) 受入主体

広川町  
(津木地区寄合会、広川を愛する会)

## (5) 受入期間

7月 ~ 10月  
3~5日程度

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
① 要件	人・自然・田舎が好きな大学生・大学院生 (できれば運転免許を持っている人)
② 応募締切り	滞在希望日の1ヶ月前まで
③ 宿泊施設	青少年の家、農家民泊
④ 食事形態	自己負担
⑤ その他	宿泊費用は青少年の家(一泊200円)、農家民泊(一泊3,500円)程度

## (7) 地域担当者から一言

広川町では若く活力あふれる学生のアイデアや力を待っています。地域の人と共に汗を流し一緒に地域づくりをしませんか。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 広川町	担当部署 企画政策課
(ふりがな) なかやま ゆう 担当者氏名 中山 友	TEL: 0737-23-7731 (直通) FAX: 0737-62-2407
E-mail: kikaku4@town.hirogawa.wakayama.jp	
URL: <a href="http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/">http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/</a>	
応募宛先 〒643-0071 和歌山県有田郡広川町広1500	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-63 : 和歌山県有田川町 (人口: 26,919人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR紀勢本線(きのくに線)藤並駅下車、路線バスで約50分  
阪和自動車道「有田IC」下りて約50分

## (2) 事業実施の目的等

伝統工芸である手漉き和紙「保田紙」を伝承し、和紙の風合いを活かした商品のアイデアを出していただきたい。保田紙とこの町のシンボルである棚田「あらぎ島」を関連させたPRを行い、この地の魅力を発信していく提案をいただきたい。地域に馴染み定住者の増加を期待したい。

## (3) 体験の内容

手漉き和紙「保田紙」の製造(紙漉き)を体験  
1月中旬~2月初旬は紙の原料である「楮」の収穫と紙素作りの作業

## (4) 受入主体

有田川町(施設: 体験交流工房わらし)

## (5) 受入期間

通年(1日~連続5日程度) ※要事前相談

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 宿泊費: 食事代:	} 自己負担
①要件	田舎や人とのふれあいが好きな方。この地の歴史、田舎暮らしに興味がある方。	
②応募締切り	随時受け付けていますが、事前(2週間前ぐらい)に要問い合わせ	
③宿泊施設	紹介可能(近隣の宿泊施設、農家民泊)	
④食事形態	各自	
⑤その他	作業ができる服装(水を使う作業ですので着替えがあると便利)	

## (7) 地域担当者から一言

この地域は「ぶどう山椒」生産量日本一を誇る中山間地域です。保田紙は約380年の歴史ある和紙ですが、保田紙製造をきっかけとして若い意欲ある学生の視点から、地域活性化のアイデアをいただきたいと期待しています。田舎暮らしに興味のある方、大歓迎です。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 有田川町	担当部署 産業振興部 清水行政局 産業振興室
(ふりがな) つえたに えり 担当者氏名 崩谷 恵理	TEL: 0737-52-2111 (代表) 83-113 (内線) FAX: 0737-25-9005
E-mail: tsuetani.e@town.aridagawa.lg.jp	
URL: http://www.town.aridagawa.lg.jp/	
応募宛先 〒643-0521 和歌山県有田郡有田川町清水387-1 有田川町役場 清水行政局 産業振興室	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-64 : <sup>とっとりし</sup>鳥取県鳥取市 (人口: 189,799人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陰線鳥取駅下車 日の丸バス雨滝行 国府麻生バス停下車

(2) 事業実施の目的等

鳥取市に定住し地域農業の担い手として新規就農を目指す人材の育成

(3) 体験の内容

受入主体が管理運営する農場(水稲・野菜・果樹)での農業実体験

(4) 受入主体

(一財)鳥取市農業公社 とっとりふるさと就農舎

(5) 受入期間

随時(体験期間1日~1週間程度)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 全額自己負担 宿泊費・食事代: 1日あたり1,000円負担(ただし公社直営の宿泊施設を利用する場合に限る)
①要件	(2)の目的を持ち事前に体験を希望する者
②応募締切り	随時
③宿泊施設	公社直営の宿泊施設(個室)あり
④食事形態	原則自炊(他の研修生との共同)
⑤その他	作業のできる服装をご用意ください

(7) 地域担当者から一言

農業に興味があるけれどやったことがない、農業に触れてみたい方、就農舎で学んでみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 鳥取市	担当部署 農業振興課生産流通振興室
(ふりがな) たなか りん 担当者氏名 田中 凜	TEL: 0857-20-3239(直通) FAX: 0857-20-3047
E-mail: seisan@city.tottori.lg.jp	
URL: http://www.city.tottori.lg.jp	
応募宛先 〒680-8571 鳥取市尚徳町116番地	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

### No.-65 : 鳥取県湯梨浜町 (人口: 17,023人)

#### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陰本線 松崎駅下車 徒歩5分

#### (2) 事業実施の目的等

町内においてボランティア活動に従事してもらうことにより、観光では味わうことのできない住民との交流を体験してもらうとともに、交流による地域の活性化及び移住定住の推進を図る。

#### (3) 体験の内容

- ・地域住民が立ち上げたカフェ又は直売所での接客補助
- ・農業体験 (農作物の収穫、出荷作業補助)

#### (4) 受入主体

湯梨浜町  
(ボランティア受入団体: カフェ梅や、直売所  
よどや、樋口農園)

#### (5) 受入期間

毎年5月以降 随時  
(体験期間 1~3日程度)

#### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 全額自己負担 宿泊費: 町内の民間のゲストハウス「たみ」を利用される場合は、宿泊費は受入主体が負担します。(最大3日まで) 食事代: 全額自己負担
①要件	県外に居住し、上記体験を希望する者
②応募締切り	随時
③宿泊施設	民間のゲストハウス「たみ」(男女別の相部屋、自炊キッチン有り)
④食事形態	原則自炊 (併設するカフェでの軽食等の提供 (有料) 有り)
⑤その他	

#### (7) 地域担当者から一言

ボランティアのお手伝いでみんなが笑顔になります。ボランティアの作業でおいしい農作物が育ちます。たった1日でもO.Kです。湯梨浜町の暮らしを体験してください。

#### (8) お問い合わせ先

自治体名 湯地浜町	担当部署 企画課 まちづくり推進係
(ふりがな) たねこ 担当者氏名 種子	TEL: 0858-35-5311 (直通) FAX: 0858-35-3697
E-mail: <a href="mailto:ykikaku@yurihama.jp">ykikaku@yurihama.jp</a>	
URL: <a href="http://www.yurihama.jp/soshiki/3/1391.html">http://www.yurihama.jp/soshiki/3/1391.html</a>	
応募宛先 〒682-0723 鳥取県東伯郡湯梨浜町大字久留19番地1	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-66 : 島根県益田市ますだし (人口: 47,450人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

(空港) 萩・石見空港 (JR) 山陰本線益田駅下車 石見交通バス 東仙道バス停

## (2) 事業実施の目的等

・島根県益田市美都町は、島根県の西側に位置し、山々に囲まれた人口約2,000人の小さな町です。特産品である「ゆず」は、中国地方有数の生産量を誇ります。「ゆず収穫ボランティアホリデー」では、ゆずの収穫作業を通して、島根県益田市美都町を知ってもらい、UIターンのきっかけとなることを期待します。

## (3) 体験の内容

- ・ゆずの収穫作業体験
- ・農家と参加者を交えた交流会
- ・郷土芸能「石見神楽」の鑑賞
- ・美人の湯「美都温泉」入浴体験 ほか

## (4) 受入主体

美都ボランティアホリデー実行委員会

## (5) 受入期間

11月中旬～下旬の2日間程度  
(日程決定後、市ホームページ等でお知らせ)

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担 (参加料金をいただき、昼食・交流会費に充てます。)
①要件	田舎暮らしや農作業の体験をしてみたい健康な方
②応募締切り	ボランティアホリデー実施の1週間前
③宿泊施設	農家民宿または市内旅館・ホテル
④食事形態	自己負担 (昼食・交流会費は参加料金の中で用意します。)
⑤その他	ゆず圃場で農作業を行いますので、帽子・汚れてもよい服装・雨天時のカッパ等の準備をお願いします。

## (7) 地域担当者から一言

ゆずの収穫時期は、11月～12月です。その時期には、美都町内のいたるところで黄色いゆずを目にすることができます。収穫用のハサミを使って枝から切り取ると、さわやかなゆずの香りを感じることができます。ぜひ、みなさん自身の手でゆずを収穫しに美都町へお越しください。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 益田市	担当部署 美都総合支所 地域づくり推進課
(ふりがな) おしたに はるみ 担当者氏名 押谷 晴美	TEL : 0856-52-2314 (直通) FAX : 0856-52-2190
E-mail : <a href="mailto:zukuri-m@city.masuda.lg.jp">zukuri-m@city.masuda.lg.jp</a>	
URL : <a href="http://www.city.masuda.lg.jp">http://www.city.masuda.lg.jp</a>	
応募宛先 〒698-0292 島根県益田市美都町都茂 1803-1	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

いいなんちょう

No.-67 : 島根県飯南町 (人口: 5,000人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・ JR三次駅 (広島県) から、路線バスで 40 分
- ・ 高速バスたたらば壱番地下車後、路線バスで 30 分

## (2) 事業実施の目的等

就職、移住を検討するにあたって、田舎暮らしを体験し、地元の人と交流を持ち、まちの風土を知ってもらうことを目的としています。ご相談に応じて自由に体験内容を組み替えますので、田舎で体験してみたいこと、知りたいことをご相談ください。

## (3) 体験の内容

短期農業体験、短期就業体験、UI ターン者との交流、伝統文化の体験、その他季節に応じて可能な田舎暮らし体験が可能です。また、時期が合えば地域のイベントなどに参加したり、住居の候補となる住宅や空き家の見学も可能です。

## (4) 受入主体

飯南町定住支援センター

## (5) 受入期間

平成 30 年 5 月中旬～平成 31 年 3 月下旬  
3 日間程度 (期間は応相談)

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: ご負担ください。 宿泊費: 飯南町内での宿泊費はかかりません。 食事代: ご負担ください。
①要件	田舎への移住、就職を検討している方
②応募締切り	随時受付 10 日前までにご相談ください。
③宿泊施設	飯南町お試し暮らし住宅、または一般の宿泊施設
④食事形態	お試し暮らし住宅の場合、自炊施設完備 近隣にスーパーがあります。
⑤その他	自転車やレンタカーがあるとより望ましいですが、移動手段はご相談ください。

## (7) 地域担当者から一言

飯南町は人口 5 千人のちいさなまちですが、毎年移住施策を通じて 50 人前後の方が移住しているととても元気なまちです。雄大な自然と豊かな伝統文化を体験し、田舎暮らしをぜひご検討ください。滞在中の体験や期間等は相談に応じて組み替えますので、お気軽にご相談ください。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 飯南町	担当部署 地域振興課
(ふりがな) おおえ もとひろ 担当者氏名 大江 基博	TEL : 0854-76-2864 (直通) FAX : 0854-76-2221
E-mail : oe-motohiro@re.iinan.jp	
URL : http://iinan-teiju.jp	
応募宛先 〒690-3513 島根県飯石郡飯南町下赤名 880 飯南町役場 地域振興課 担当: 大江	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

つやまし  
No.-68 : 岡山県津山市 (人口: 102,254人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR津山線 津山駅下車 中鉄北部バス 衆楽園市役所前バス停

(2) 事業実施の目的等

津山地域の企業の魅力を感じていただくとともに、参加した学生の特性・強みなどの自分発見や、志向の具体化を図り自己成長につなげるもの。

(3) 体験の内容

津山地域企業の協力のもと、2週間のインターンシップ型学生研修事業を行います。ライブ感のあるリアルな仕事体験を通じて経営理念や企業風土などの会社の魅力を感じていただくとともに、特別カリキュラム研修を行うことで参加学生の特性・強みなどの自分発見を行っていただきます。

(4) 受入主体

市内企業 (3社)

(5) 受入期間

7月下旬～9月中旬のうち2週間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：各自負担願います。 宿泊費：各自負担願います。 食事代：各自負担願います。
①要件	就職活動を控えた大学・大学院・短大・高専・専門学校の学生
②応募締切り	参加者枠(6名)が埋まるまで(先着順)
③宿泊施設	お試し住宅等を紹介します。(各自負担)
④食事形態	各自負担
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

学生の皆さんの特性や強みなど、自分発見につながるようなインターンシップを行います。ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 岡山県津山市	担当部署 産業経済部 仕事・移住支援室
(ふりがな) まつもと ひろみつ 担当者氏名 松本 宏光	TEL: 0868-24-3633 (直通) FAX: 0868-22-9647
E-mail: shigoto-iju@city.tsuyama.lg.jp	
URL: <a href="https://life-tsuyama.jp">https://life-tsuyama.jp</a>	
応募宛先 〒708-0022 岡山県津山市山下92-1 津山圏域雇用労働センター内 津山市仕事・移住支援室あて	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-69 : 岡山県津山市 (人口: 102,254人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR津山線 津山駅下車 中鉄北部バス 衆楽園市役所前バス停

## (2) 事業実施の目的等

農業をきっかけとした地域の方との交流を通じて、移住前に津山地域の暮らしを体験し、津山市への移住促進を図るもの。「津山ぐらしIJUサポートセンター」に常駐するIJUコンシェルジュが、体験希望者の農業体験ニーズに合わせて地元農家や農業事業者の方とのマッチングを行います。

## (3) 体験の内容

・農業体験 (水稻、果樹 (ぶどう等)、野菜各種、自然薯、お飾り作り他)  
※時期によって作業内容は変わります

## (4) 受入主体

市内営農組合等

## (5) 受入期間

4月1日(日)～3月31日(日)  
のうち随時(最長7日間)

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 参加者負担 宿泊費: 参加者負担 食事代: 昼食は受入主体が負担します。
①要件	農業を体験してみたい方であればどなたでもOK (やってみたいけど、やり方がわからない方など)
②応募締切り	なし (随時開催)
③宿泊施設	お試し住宅などをご紹介します。
④食事形態	体験中は昼食を提供。朝・夕は各自
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

## (7) 地域担当者から一言

津山で農業をしてみませんか? 体験ニーズに合わせた受入団体とのマッチングを行います。農業体験を通じて、田舎暮らしの体験だけでなく、地域の方との交流を体験してみてください。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 岡山県津山市	担当部署 産業経済部 仕事・移住支援室
(ふりがな) まつもと ひろみつ 担当者氏名 松本 宏光	TEL: 0868-24-3633 (直通) FAX: 0868-22-9647
E-mail: shigoto-iju@city.tsuyama.lg.jp	
URL: <a href="https://life-tsuyama.jp">https://life-tsuyama.jp</a>	
応募宛先 〒708-0022 岡山県津山市山下92-1 津山圏域雇用労働センター内 津山市仕事・移住支援室あて	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-70 : 岡山県井原市<sup>いばらし</sup> (人口: 41,160人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

井原鉄道 井原駅  
※井原駅から車で約30分

## (2) 事業実施の目的等

地域住民と都市住民との交流により、地域住民が地域の宝を再認識するとともに元気をもらい、地域活性化に向けた意識の高揚を目的としています。

## (3) 体験の内容

農業体験交流事業“池井の恵み「いただきまーす」”  
地域住民の日常的な農作業等を題材とした、イベントを行います。  
・農業体験(芋植え、芋掘り)  
・しめ飾り作り など

## (4) 受入主体

池井地区地域運営協議会

## (5) 受入期間

6月中旬、10月中旬、12月中旬  
それぞれ半日程度実施

## (6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 1,500~2,000円程度 現地までの交通費: 自己負担 食事代: 参加費に含む
①要件	自然・田舎が好きな人、人とのふれあいが好きな人
②応募締切り	イベント実施日の1~2週間前
③宿泊施設	
④食事形態	イベント実施日の昼食のみ、地域にて用意
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

## (7) 地域担当者から一言

自然の中で汗を流してリフレッシュしたい、農作業を体験してみたいという方におすすめです。自分で育てた芋などの農産物を、あなたも味わってみませんか?

## (8) お問い合わせ先

自治体名 井原市	担当部署 建設経済部地域創生課定住促進係
(ふりがな) ふじかわ あきら 担当者氏名 藤川 晃	TEL: 0866-62-8850 (直通) FAX: 0866-62-8853
E-mail: sousei@city.ibara.lg.jp	
URL: <a href="http://space.geocities.jp/chisei20080709/index.html">http://space.geocities.jp/chisei20080709/index.html</a>	
応募宛先 〒715-0014 岡山県井原市七日市町10番地 井原市地場産業振興センター2階	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-7 1 : 岡山県新見市<sup>にいみし</sup> (人口: 30,214人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR伯備線新郷駅

## (2) 事業実施の目的等

木材材価の低迷、林業従事者の減少・高齢化等により、市内森林の施業は年々困難になっており、間伐等を必要とする人工林が増加している状況下において、大学生等の協力のもと、山林の保育活動の推進を図ることに加え、森林の持つ公益的機能等の重要性について学んでもらうことを目的とする。

## (3) 体験の内容

- ・間伐等の森林整備体験
- ・他大学学生との共同生活体験

## (4) 受入主体

(一社) 人杜守 (ひとともし)

## (5) 受入期間

前期: 平成30年9月上旬  
後期: 平成31年3月上旬  
前・後期ともに2週間程度

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 主催者負担 食事代: 自己負担 機械整備代: 2,500円
①要件	心身ともに健康な18才以上の男女
②応募締切り	前・後期とも開催の20日前まで
③宿泊施設	神郷温泉 (新見市神郷高瀬3188-1)
④食事形態	自炊 (参加した学生が協力して自ら調理を行う)
⑤その他	保険等は主催者負担で加入します。全日、数日参加ともに可能です。

## (7) 地域担当者から一言

・チェーンソーを使用しての森林整備等、他の森林ボランティアにはない取り組みができ、貴重な体験をすることができます。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 新見市役所	担当部署 産業部 農林課 林業振興係
(ふりがな) にしだ りょうすけ 担当者氏名 西田 椋亮	TEL: 0867-72-6134 (直通) FAX: 0867-72-6181
E-mail: ryousuke-nishida@city.niimi.lg.jp	
URL: <a href="http://www.city.niimi.okayama.jp">http://www.city.niimi.okayama.jp</a>	
応募宛先 〒719-3612 岡山県新見市神郷油野3931 環境保全型森林ボランティア事務局 佐伯 (TEL: 090-2826-9501 E-mail: yanbotakara@gmail.com)	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-72 : 岡山県美咲町 (人口: 14,561人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR津山線 亀甲駅 徒歩3分

## (2) 事業実施の目的等

美咲町地域林業担い手サポート協議会は、森林の公益的機能の発揮と林業のサイクルを循環させるため、林業の担い手確保に向けた総合的な取り組みをしています。その一環として、林業で働くことに興味のある人を対象に、就業に向けた現地作業体験と林業者との意見交換会を開催しています。(H29実績: 7/29(土)、10/7(土)、12/10(日))

## (3) 体験の内容

○林業体験 フォレスターによるデモンストレーションと林業機械(チェーンソー、重機、林内作業車)の作業体験等を行います。  
○意見交換会 森林組合職員、林業者、林業事業体と就業・生活・Iターンについてや、町の移住・定住について個別相談を行います。

## (4) 受入主体

美咲町地域林業担い手サポート協議会

## (5) 受入期間

7月~12月の期間で3回程度開催  
1日間

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担(お試し暮らし住宅の利用可: 限定1組のみ) 食事代: 昼食代1,500円程度
① 要件	林業で働くことに興味のある方
② 募締切り	開催日の10日前までにメール、FAX、TELにて申し込みください。
③ 宿泊施設	車で来られる場合は、町内の宿泊施設、公共交通機関なら近隣の宿泊施設
④ 食事形態	昼食のみ(弁当)
⑤ その他	汚れてもよい作業できる服装・長靴・保険証

## (7) 地域担当者から一言

町内の若手林業者を中心に「担い手部会」を結成しています。担い手部会は情報交換による交流、新規就業者や移住者との協力体制を作っています。美咲町で林業の「未来」をつくりましょう!

## (8) お問い合わせ先

自治体名 美咲町役場	担当部署 産業建設観光課
(ふりがな) ころやす ひでお	TEL: 0868-66-1118(直通)
担当者氏名 頃安 英生	FAX: 0868-66-7622
E-mail: sangyou@town.okayama-misaki.lg.jp	
URL: <a href="https://www.town.misaki.okayama.jp/soshiki/sangyokensetukanko/">https://www.town.misaki.okayama.jp/soshiki/sangyokensetukanko/</a>	
応募宛先 〒709-3717 岡山県久米郡美咲町原田3111-3	
久米郡森林組合 TEL 0868-66-0053 FAX 0868-66-2539	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-73 : 山口県<sup>ながとし</sup>長門市 (人口: 34,893人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陽新幹線 新山口駅又は厚狭駅下車 JR美祢線 長門湯本駅下車  
サンデンバス 長門湯本駅-俵山公民館前 20分

## (2) 事業実施の目的等

都市部で暮らす若者を受入れ、地域住民との交流を通じて、若者から見た地域評価をいただくことにより、地域活性化を図るとともに、地域の特色を活かした体験交流プログラムの開発を行なうことを目的とする。

## (3) 体験の内容

- ・ 農作業体験や集落点検調査の実施
- ・ 公民館活動への参加 (地域住民との交流、スポーツ活動、地域の祭り等)
- ・ 日帰り入浴施設、旅館等での接客体験
- ・ 地域づくりの広報宣伝活動に参加 (情報誌、ホームページ、フェイスブック等) 等

## (4) 受入主体

NPO法人 ゆうゆうグリーン俵山

## (5) 受入期間

8月 上旬 ~ 8月 下旬  
14日間程度 (詳細は参加学生と調整)

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 受入費用: 3万円 (宿泊費・食事代・保険代・作業費込み)
①要件	都市と農村の交流 (グリーンツーリズム) に興味のある方
②応募締切り	平成30年 7月 2日 (月) 必着
③宿泊施設	温泉旅館とホームステイの併用
④食事形態	原則として、宿泊先で用意します。(費用負担は受入費用に含む)
⑤その他	

## (7) 地域担当者から一言

受入主体となるNPO法人は、地域住民と協力して、地域の活性化に取り組んでいます。あなたも、俵山地域の人と交流し、体験を通して地域の事を知り、あなたの若い発想力で、この地域が活性化するための提案をしてみませんか。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 山口県 長門市	担当部署 企画総務部 企画政策課 企画調整係
(ふりがな) むつだ まさひろ 担当者氏名 睦田 尚玄	TEL: 0837-23-1229 (直通) FAX: 0837-22-0135
E-mail: chousei@city.nagato.lg.jp	
URL: <a href="http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/">http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/</a> <a href="http://tawarayama.jp/">http://tawarayama.jp/</a>	
応募宛先 〒759-4192 山口県長門市東深川 1339 番地 2	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-74 : 徳島県<sup>みなみちよう</sup>美波町 (人口: 6,963人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR牟岐線 日和佐駅下車 徒歩15分

(2) 事業実施の目的等

地域づくりや地域活性化の取り組みに関心を持ち、美波町が取り組む種々の施策に参画を希望する若者を迎え入れ、地域での様々な取り組み、各種交流事業等に関わってもらうことで地域や地域住民の刺激とするほか、体験終了後は美波町のサポーターとして町や地域との良い関係を構築してもらうことを期待します。

(3) 体験の内容

- ・地域の漁業、農業体験
- ・地域での滞在及び地域内各種行事等への参加及び交流
- ・うみがめ博物館でのうみがめ飼育の手伝い
- ・地域主導の都市・地域間の交流事業への参加

(4) 受入主体

美波町

(5) 受入期間

7月下旬～8月下旬での14泊15日を予定  
※参加学生の方と相談し日程を決定します。

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	現地までの交通費: 美波町負担 (最寄りターミナル駅もしくは空港から美波町まで) 宿泊費: 美波町負担 食事代: 「④食事形態」のとおり
① 要件	・地域づくり、観光振興に興味のある方 ・体験最終日に体験発表会及び、終了後レポートの提出 (広報「みなみ」に掲載します。)
② 応募締切り	平成30年6月14日 (※当日消印有効) ※別添募集参加申込書・小論文記入用紙に記載の上、担当まで郵送。
③ 宿泊施設	ホームステイ、宿泊施設 (国民の宿)、美波町体験活動施設、各地区交流体験施設を予定
④ 食事形態	原則: 朝・昼・夕食は自炊等自己負担 ※ホームステイ・国民の宿の朝夕食は提供予定 (美波町負担)。
⑤ その他	・申込前に担当までご連絡ください。 ・動きやすく、汚れてもいい服装が必要です。

(7) 地域担当者から一言

美波町は、徳島県東南部に位置し、海・山・川の自然豊かな町です。そんな町の新しい地域資源を共に発見しましょう。地域づくり活動も盛んな地域ですので、是非若い方の活力を美波町に！不明な点等があれば事前にご連絡をください。

(8) お問合せ先

自治体名 美波町	担当部署 総務企画課
(ふりがな) ニガチヒゲキ 担当者氏名 西口 英樹	TEL: 0884-77-3611 (直通) FAX: 0884-77-1666
E-mail: somu@minami.i-tokushima.jp	
URL: http://www.town.minami.tokushima.jp	
応募宛先 〒779-2395 徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-75 : 愛媛県今治市 (人口: 14,500人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR四国予讃線桜井駅、今治駅から小松行きせとうちバス (浜桜井バス停下車)

### (2) 事業実施の目的等

人口減少や基幹産業(漁業・漆器製造販売)の衰退などで疲弊する桜井地区において、地域資源(日本の渚百選海岸や日本三大天満宮の綱敷天満宮、桜井漆器等の歴史景観、地域水産物を活かした「食」、サイクリングやスポーツ施設を活かしたアクティビティ等)を活かしたまちの再生に取り組んでおり、都市部の若い人の意見を取り入れたいと思っています。

### (3) 体験の内容

・漁業体験 ・漆器作り体験 ・サイクリング周遊体験 ・海水浴ワークショップ ・地域住民とのワークショップ等  
(内容は検討中ですので変更する場合がございます。)

### (4) 受入主体

桜井地区地域水産業再生委員会

### (5) 受入期間

7月末(予定)  
7~10日間(予定)

### (6) 応募上の注意-

※費用負担	現地までの交通費: 半額負担(予定) 宿泊費: 無料(予定) 食事代: 自己負担
① 要件	3大都市圏居住の20歳以上の大学生及び大学院生で、人とふれあいが好き、で好奇心旺盛な海の好きな人(2名以上のグループ参加歓迎)
② 応募締切り	6月末(予定)
② 宿泊施設	今治湯ノ浦ハイツ(予定)
④ 食事形態	朝食はホテル、昼・夕食は体験、ワークショップの内容により変動(現地、ホテル、自由食(予定))
⑤ その他	※モニターツアーの詳細(開催の可否も含め)4月末決定となります。 ※作業できる服と水着を持参ください。

### (7) 地域担当者から一言

観光・教育・福祉(障がい者雇用等)と連携した漁村の活性化に取り組んでいます。そのためには、若者や家族連れを引き寄せる魅力的な観光コンテンツの発掘や特産品の開発などが必要です。本気で地方創生を考えてくれるセンスある元気な若者を求めています。

### (8) お問い合わせ先

自治体名 愛媛県今治市	担当部署 農水港湾部 水産課
(ふりがな) おち せつじ 担当者氏名 越智 節二	TEL: 0898-36-1546 (直通) FAX: 0898-32-5263
E-mail: <a href="mailto:suisan@imabari-city.jp">suisan@imabari-city.jp</a>	
URL:	
応募宛先 〒794-8511 愛媛県今治市別宮町1-4-1 今治市役所水産課	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-76 : 愛媛県<sup>しこくちゅうおうし</sup>四国中央市 (人口: 87,413人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

大阪駅・岡山駅・松山駅から開催場所(四国中央市内)まで、無料送迎バスを運行。

### (2) 事業実施の目的等

都市部の若者等に日本一の紙のまちを体験してもらうことで、UIJ ターンを促進し、地方で働く人材の確保に努める。

### (3) 体験の内容

大阪、岡山、松山発着の無料体験バスツアーを開催。紙産業の歴史や今後の可能性についての講義と会社見学などを実施。

### (4) 受入主体

四国中央市

### (5) 受入期間

8月 ~ 2月 の間で  
1日間

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 発着場所(大阪駅、岡山駅、松山駅)までの往復交通費は自己負担 宿泊費: 日帰りバスツアーのため不要 食事代: 昼食のみ主催者で準備
① 要件	大学生を中心とした若者 40名程度
② 応募締切り	未定
③ 宿泊施設	なし
④ 食事形態	昼食は弁当 自己負担なし
⑤ その他	

### (7) 地域担当者から一言

実際に2社の会社見学ができ、これまでの参加者からも好評をいただいています。まずは、「来て」「見て」そして、「住んで、働いて」もらえるよう、取り組んで参ります。

### (8) お問い合わせ先

自治体名 四国中央市	担当部署 総務部 企画課 地方創生推進室
(ふりがな) ながの としひで 担当者氏名 長野 敏秀	TEL: 0896-28-6005 (直通) FAX: 0896-28-6056
E-mail: iju-teiju2060@city.shikokuchuo.ehime.jp	
URL: <a href="http://shikochu.info/">http://shikochu.info/</a>	
応募宛先 <a href="http://shikochu.info/">http://shikochu.info/</a> 「あったかしこちゅ～」会員サイトから応募してください。	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-77 : 高知県しまんとし四万十市 (人口: 34,430人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

最寄駅: JR予土線 江川崎駅

高知駅→窪川駅→江川崎駅 ※高知駅～窪川駅までは土讃線 窪川駅～江川崎駅までは予土線(約2時間半)

## (2) 事業実施の目的等

- ・ 少子高齢化が進み閉塞感が漂う中山間地域に若い人達に関わってもらうことで、地域コミュニティの活性化に繋げていきたい。
- ・ 少子高齢化の進む中山間地域を体感してもらい、感じたこと、思ったこと地域に提言してもらいたい。

## (3) 体験の内容

- ・ 地域での協働活動(清掃活動、農作業、バラ園の整備等)への参加と協力
- ・ 大宮ランチ(大宮地区の女性部が月に2回程度実施)の手伝い
- ・ 大宮産業※1の手伝い

※1 大宮産業(廃止となった農協の店舗を住民が株主となって店舗を買い取り、住民自らが店舗経営を行い、日用雑貨、ガソリン等を販売)

## (4) 受入主体

大宮地域振興協議会

## (5) 受入期間

随時(※受け入れ団体との調整による)

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	18歳以上で中山間地域の暮らしに興味があり、好奇心旺盛で、人と触れ合うことが好きな人
②応募締切り	随時※受け入れ団体との調整による
③宿泊施設	集会所、市所有の住宅
④食事形態	宿泊施設での自炊 ※滞在期間中に、地元住民との懇親会あり
⑤その他	宿泊に必要なもの(別途、作業の出来る服装が必要です)

## (7) 地域担当者から一言

大宮地区は、廃止となった農協の出張所を住民が株主となり、店舗を買い取り、住民自らが店舗経営を行うなど、住民自らが主体となってコミュニティの維持・存続に取り組んでいる地域です。

また、他所から来た人の受け入れ経験も豊富です。受け入れ団体と連携して受け入れをサポートしますので、日程や内容の相談など、分からないこと等あればお気軽にお問合わせください。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 四万十市西土佐総合支所	担当部署 地域企画課 地域振興係
(ふりがな) あらたま やすゆき	TEL: 0880-52-1111 (代表)
担当者氏名 新玉 康之	FAX: 0880-52-2124
E-mail: n-tiiki@city.shimanto.lg.jp	
URL: http://www.city.shimanto.lg.jp	
応募宛先 〒787-1601 四万十市西土佐江川崎 2445-2	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-78 : 福岡県<sup>ちくごし</sup>筑後市 (人口: 49,293人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

電 車 : JR九州鹿児島本線 羽犬塚駅下車 (博多駅から約 60 分)  
高速鉄道 : 九州新幹線 筑後船小屋 (博多駅から約 25 分)  
高速バス : 高速バス 八女 IC (博多バスターミナルから約 50 分)

## (2) 事業実施の目的等

多くの若者に、筑後市の魅力に触れることができる体験型ツアーに参加していただき、地域の方々との交流や文化に触れることで、筑後市の住みよい住環境を感じていただきたい。ひいては、交流人口の拡大、U I J ターン促進に寄与することで、地域活性化に繋げていきたい。

## (3) 体験の内容

- ・ジャムづくり体験 (7 月頃)
- ・ブルーベリー収穫体験 (8 月上旬)
- ・ヨガ入門体験 (通年)
- ・大麦料理教室 (通年)
- ・女性限定久留米緋ゆかたの着付け体験 (通年) など

## (4) 受入主体

筑後市

## (5) 受入期間

随時 (プログラムによっては時期限定)

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 参加者 宿泊費 : 参加者 食事代 : 参加者
①要 件	学ぶことが好きな人 (プログラムによっては女性限定)
②応募締切り	随時 (詳細はお問い合わせください)
③宿泊施設	市内ホテル等
④食事形態	自己負担
⑤そ の 他	最低実行人員、定員があります (詳細はお問い合わせください)

## (7) 地域担当者から一言

筑後市は、交通アクセスも良く、生活も何かと困ることがない程よい田舎です。体験プログラムも難易度が低い (気軽に体験できる) ものが多いため、楽しく体験することが可能です。きっと、リピートしたくなると思います。私どもも可能な限りサポートしたいと思っておりますので、興味が湧いたらまずはお連絡ください。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 筑後市	担当部署 企画調整課 地方創生担当
(ふりがな) かねこ かずまさ 担当者氏名 金子 一征	TEL : 0942-53-4245 (内線 260) FAX : 0942-52-5928
E-mail : kikaku-z103@city.chikugo.lg.jp	
URL : http://www.city.chikugo.lg.jp	
応募宛先 〒833-8601 福岡県筑後市大字山ノ井 898 筑後市役所 企画調整課	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-79 : <sup>つしまし</sup>長崎県対馬市 (人口: 31,392人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・博多港からフェリーで4時間30分(厳原航路)、5時間40分(比田勝航路)、博多港からジェットfoilで2時間15分(厳原港) ※韓国・プサンからの国際航路あり
- ・福岡空港あるいは長崎空港から飛行機で約35分

## (2) 事業実施の目的等

「学びの力を地域に、地域の力を学びに」。地域おこしへの理解促進と地域おこしの担い手育成を行うとともに、参加者との交流・実践作業を通じて地域を元気にするため、学生のみなさんのフィールドワーク(実習や調査研究等)を積極的に受け入れています。

## (3) 体験の内容(主に3つのプログラムをご用意)

ア)「対馬市島おこし実践塾」:全国の学生等が集い学び合う実践型の合宿です。地域おこしの基礎や実状を現地で学ぶ入門編(3泊4日程度)、「生物多様性と農林水産業振興」をテーマとした専門編(4泊5日程度)があります。入門編は8月中、専門編は9月上旬の開催を予定。  
イ)「フィールド研究」:対馬をフィールドに学術研究に取り組む学生をサポートします(情報提供、研究助言、滞在拠点の提供等)。学術研究に要する研究補助制度もあります(公募審査制)。  
ウ)「農林水産業インターン」:農林水産業の現状理解の促進と担い手育成を図るインターンシップ。農林漁業に関心がある学生、対馬で農林漁業の仕事に就きたいという学生にオススメです。

## (4) 受入主体

対馬市  
(九州と朝鮮半島の間には浮かぶ国境離島です)

## (5) 受入期間

平成30年4月~平成31年3月頃  
(※プログラムにより受入期間や滞在日数は異なります)

## (6) 応募上の注意

※費用負担(予定)	ア)対馬までの交通費、参加費(入門編:1万、専門編:1万2千円)自己負担 ※参加費には食費・保険等含まれます。宿泊や講師、テキスト等主催者負担 イ)すべて自己負担(学術研究補助に採択された場合は対象経費の2/3を補助) ウ)対馬までの旅費・宿泊費(1/2は補助予定)、食費・保険料等自己負担
①要件	大学・専攻・学年など不問。地域の方々との積極的にコミュニケーションを取りながら現場で学びたい学生を歓迎します
②応募締切り	平成30年4月~7月中に募集予定
③宿泊施設	ア)民家へのホームステイ、イ)及びウ)域学連携活動・滞在拠点施設等
④食事形態	ア)地区の方々による炊き出し等、イ)及びウ)自炊等
⑤その他	募集の詳細は4月頃中に「対馬市域学連携ポータルサイト」に掲載します。

## (7) 地域担当者から一言

みなさんはなぜ地域に関心があり、何のために地域おこしをしたいのでしょうか。地域とは何か、地域や農林水産業の現状はどうなっているのか。地域おこしを行う上で何が大切なのか。それは地域の方々との交流しながら、見て聞いて体験してみないと分かりません。現代社会は、人として大切なことを見落としがちです。人が温かく人情あふれる対馬は、その大切なことを気付かせてくれます。地域おこし・暮らし・生業の根本を学びたい、将来地方に移住したい、地域に貢献したいという学生諸君、お待ちしております。

## (8) お問い合わせ先

自治体名: 対馬市	担当部署: しまづくり推進部 市民協働・交通対策課
(ふりがな)	TEL: 0920-53-6111 (代表) 内線: 473
担当者氏名 <sup>まえだ つよし</sup> 域学連携担当 前田 剛	FAX: 0920-53-6112 (代表)
E-mail: ikigaku@city-tsushima.jp	
URL: 域学連携ポータルサイト <a href="http://fieldcampus.city.tsushima.nagasaki.jp/">http://fieldcampus.city.tsushima.nagasaki.jp/</a>	
応募宛先 〒817-8510 長崎県対馬市厳原町国分1441番地	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-80 : おぢかちょう 長崎県小値賀町 (人口: 2,499人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

【福岡県博多港より】 野母商船「フェリー太古」にて約5時間 (23:45発 朝4:40着)  
【長崎県佐世保港より】 九州商船「フェリーなるしお」にて約3時間 (1日2便)  
九州商船高速船「シークイーン」にて1時間40分 (1日2便)

## (2) 事業実施の目的等

約1カ月間にわたり、地域の特色を活かした島暮らし体験や交流プログラムへの参加を通じて、地方の良さを知ってもらいつつ、外部から見たフレッシュな感覚で小値賀町における取り組みに対して提言・評価を行ってまいります。また、小値賀町にとっても、都市の若者の受入や交流を通じて、地域の活性化やUターン促進のきっかけづくり等に役立てるという目的で実施します。

## (3) 体験の内容

- ・農業、漁業、福祉事業などの体験 (稲刈り、イサキの夜釣り、老人ホーム職場体験等)
- ・当町の観光拠点でもある「野崎島」にて、自然体験活動等の体験
- ・当町が進めている「古民家再生事業」についての研修
- ・島ならではの文化や民泊の体験、ペーロン大会・夏祭り等のイベントへの参加
- ・島の若者や、各産業関係者との意見交換

## (4) 受入主体

## (5) 受入期間

小値賀町

8月上旬から約1ヶ月間を予定

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 (一部補助有) 宿泊費: 無料 (無料の宿泊施設あり) 食事代: 原則自己負担 体験料: 無料
①要件	島暮らしに興味があり、何事にも積極的に参加し、自論を人前で発表できる方 最終日には小値賀町に対する評価や提言等の報告会を開催します。
②応募締切り	6月29日(金)必着 ※別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、下記応募先まで郵送をお願いします。受入2名まで
③宿泊施設	セミナーハウス (町宿泊施設) 民泊
④食事形態	基本的に自炊 (共同調理) 民泊では、民泊家族と朝・夕を一緒に料理
⑤その他	ビーチサンダルが必需品です。

## (7) 地域担当者から一言

小値賀町では、町民の人柄、自然、食事など様々な魅力があります。島ということもあり外部の若者の目線や意見というのは、とても新鮮なものがあります。島の暮らしを体験し、その魅力を認識した上で、まちづくりの提案、意見等を楽しみにしています。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 小値賀町	担当部署 総務課企画振興班
(ふりがな) いたう ともふみ 担当者氏名 伊藤 朋文	TEL: 0959-56-3111 (代表) FAX: 0959-56-4185
E-mail: <a href="mailto:soumuka@town.ojika.lg.jp">soumuka@town.ojika.lg.jp</a>	
URL: <a href="http://www.ojika.net/">http://www.ojika.net/</a>	
応募宛先 〒857-4701 長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷2376番地1 小値賀町役場 総務課企画振興班 宛	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

## No. - 8 1 : 熊本県宇城市 (旧小川町) (人口: 59,720人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

受入主体の宇城市 (旧小川町)

- ① JR鹿兒島本線 小川駅 (JR熊本駅~小川駅: 20分) から徒歩30分、タクシー10分
- ② 阿蘇くまもと空港⇒各種バス⇒高速バス停「益城インター口」⇒高速バス停「氷川高塚」⇒徒歩15分、タクシー10分

### (2) 事業実施の目的等

- ・高齢化し、寂しくなりつつある商店街に若者の新しい息吹を入れる。
- ・若い世代のセンスや考え方を、今後の地域づくりに生かし、本事業以後も進展状況等の相談・連絡を取られるような繋がりを作る。
- ・活動拠点である古民家「塩屋」が熊本地震により大きな被害を受けるなど、スタッフの高齢化もあり維持管理が難しくなっているため、若い世代と一緒に、次の世代へ繋げていく取組を行う。

### (3) 体験の内容

- ・築110年になる商家 (古民家) の「屋根の修繕」と「庭園造り体験」  
※古民家「塩屋」: 明治39年 (1906年) に建てられた土蔵白壁の商家
- ・塩屋を拠点に活動する地元のお母さんたちとの創作料理作り・伝統料理体験
- ・地元住民や子どもたちとの地域づくり談義

### (4) 受入主体

### (5) 受入期間

風の会	通年 (3泊4日)
-----	-----------

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 原則自己負担 (料理体験等により無料になることがあります。)
①要件	・古民家に興味があり、土いじりや簡単な修繕を楽しめる人 ・地元の元気な“パワフル”お母さんたちや田舎料理に興味がある人 ・3泊可能な人
②応募締切り	随時
③宿泊施設	風の館・塩屋 (古民家で寝泊まりします。)
④食事形態	・塩屋内のピザ釜 (地域の子どもたちと制作) で石窯ピザや石窯パン作り体験 ・煮しめなど地元のお母さんたちと地域の伝統料理や創作料理作りを体験 自分で体験し、作った手料理を味わいます。
⑤その他	火鉢など、昔ながらの暖房器具はありますが、冬場は寒いので暖かい恰好で入浴できます。

### (7) 地域担当者から一言

風の館・塩屋は、平成10年に地元小川町の女性グループ「風の会」が改修した古民家です。風の会はこの蘇った塩屋を中心に、地域のボランティアや商工会と地域全体の振興を考えたイベントや活動を続けています。現在では、多くの人や団体が塩屋を拠点に、地域を更に元気にしようと活動を広げています。「古民家改修」・「地域づくり」・「田舎暮らし」このような言葉に惹かれる方は、ぜひ一度足を運んでみてください。元気で、素敵なお母さんたちが新たな出会いを楽しみに待っています!

### (8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市 (うきし)	担当部署 企画部 まちづくり観光課
(ふりがな) みやはら いたる	TEL: 0964-32-1906 (直通)
担当者氏名 宮原 至	FAX: 0964-32-2222
E-mail: machizukurikankoka@city.uki.kumamoto.jp ※件名に「若者の地方体験交流」と記載ください	
URL: <a href="http://www.city.uki.kumamoto.jp/">http://www.city.uki.kumamoto.jp/</a> (宇城市役所) <a href="http://www.geocities.jp/kazenoyakata_408/index.html">http://www.geocities.jp/kazenoyakata_408/index.html</a> (風の館・塩屋)	
応募宛先 〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85 宇城市役所 企画部 まちづくり観光課	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

### No. - 8 2 : 熊本市宇城市 (旧豊野町) (人口: 59,720人)

#### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

受入主体の豊野町:

- ① JR鹿兒島本線 松橋駅 ⇒ 徒歩5分 ⇒ 九州産交(株)松橋営業所 ⇒ 「砥用行」乗車 ⇒ バス停「南山崎」OR バス停「糸石」下車 ⇒ 徒歩10分程度  
 ② 阿蘇くまもと空港⇒各種バス⇒高速バス停「益城インター口」⇒高速バス停「松橋インター」⇒ バス停「大鳥」乗車 ⇒ バス停「南山崎」OR バス停「糸石」下車 ⇒徒歩10分程度

#### (2) 事業実施の目的等

1. 受入団体の「うきのわ」は熊本地震からの復興支援センターの役割も行っており、仮設住宅の支援や解体住宅の清掃支援などにも取り組んでおり、全国の学生にも復興の現場で地域住民と共に活動する経験・人と人との繋がりを構築する。(復興支援の現場体験)
2. 若者に生活の場として地方を認識する機会を用意する。(移住者支援の現場体験)
3. 事業への参加を契機とした今後の地域の活性化を図っていく。

#### (3) 体験の内容

- ・復興支援の現場(仮設住宅茶話会、解体住宅の清掃支援等)での活動
- ・移住者と地元住民や子どもたちとの交流イベントへのスタッフ参加  
(タケノコ掘り体験、ソーメン流し・竹箸作り体験、餅つき・ミニ門松作り体験)
- ・既存移住者や受入側の地元住民双方からの移住談義

#### (4) 受入主体

#### (5) 受入期間

地域づくり団体「うきのわ」	①復興支援関係(随時) ②移住者支援:3月~4月:タケノコ掘りイベント ③移住者支援:7月~8月:ソーメン流し、竹箸作りイベント ④移住者支援:12月:餅つき体験、ミニ門松作り体験イベント
---------------	---

#### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費:自己負担 宿泊費:原則無料(布団レンタル代金が必要となる場合があります。) 食事代:自己負担(料理体験等の費用。)
①要件	地域住民・移住者・子どもたちと一緒に元気に活動し、語り合える人
②応募締切り	①随時 ②~④:ひと月前を目安
③宿泊施設	熊本市宇城市豊野町「光照寺」(寺泊になります)
④食事形態	地元住民と一緒に、地域の伝統料理等を体験し、自炊
⑤その他	

#### (7) 地域担当者から一言

「うきのわ(宇城の“輪”)」は、東日本大震災後移住者して来た人を支援したいと、地元住民が中心となり平成25年2月に発足した団体です。移住者の今までの生活や移住経緯が、田舎住民には理解できず、移住者同士で孤立するケースもあり得るため、「うきのわ」は地域住民と移住者の交流を通じ、第2の故郷として地元にも根付いてもらう活動を続けて来ました。毎年、子どもたちと地元の名産「竹」をテーマにした取組を年間通じて実施し、最近では市内のALTの先生や海外からの留学生等とともに、国際交流体験を一緒に行っています。熊本地震後は、復興支援センターの活動も行い、仮設住宅等で様々な活動もされています。これを機会に、熊本地震からの復興に向け、全国の皆さまと一体となった繋がりを構築していければ幸いです。

#### (8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市(うきし)	担当部署 企画部 まちづくり観光課
(ふりがな) みやはら いたる	TEL:0964-32-1906(直通)
担当者氏名 宮原 至	FAX:0964-32-2222
E-mail:machizukurikankoka@city.uki.kumamoto.jp ※件名に「若者の地方体験交流」と記載ください	
URL:http://www.city.uki.kumamoto.jp/ (宇城市役所) http://ukinowa.org/ (うきのわ)	
応募宛先 〒869-0592 熊本市宇城市松橋町大野85 宇城市役所 企画部 まちづくり観光課	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-83 : 大分県<sup>うさし</sup>宇佐市 (人口: 57,000人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR中津駅(南口)から大分交通(中安線)安心院行・安心院(終点)で下車【65分】－  
乗り換え－大分交通(明治線)福貴野行・深見小学校前下車【13分】

## (2) 事業実施の目的等

地域交流ステーション 地域づくり学生インターシップ事業  
地域コミュニティ協議会(概ね小学校区単位)が抱える地域の課題や地域活性化策について、  
若い人の意見を聞き、取り入れたい。

## (3) 体験の内容

- ①地域交流ステーション(廃校活用)での全体ミーティング
- ②地域の課題解決・活性化策を考え・提案
  - ・フィールドワーク(地域資源、地域行事等を見学・体験)
  - ・地域住民にヒヤリング、地域住民とワークショップ(意見交換)、地域へ提案

## (4) 受入主体

深見地区まちづくり協議会

## (5) 受入期間

7月上旬～9月下旬

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費、宿泊費、食事代: 自己負担 ※なお、1日4,000円支給(最大7日間)
① 要件	大学生・大学院生・短大生で、田舎が好き、人とふれあいが好き
② 応募締切り	平成30年6月30日(定員に満たない場合は、延長有)
③ 宿泊施設	地域交流ステーション 1泊1,080円(食事別途) 活動地域の家庭に宿泊する場合 無料
④ 食事形態	地域交流ステーション 自炊可能 活動地域の家庭に宿泊する場合 無料
⑤その他	3～4地域で募集があるので、それぞれ募集要項を熟読の上、応募ください。

## (7) 地域担当者から一言

学生の受入れ経験のある地域が温かくお迎えしてくれます。おいしい空気・水・食べ物や田舎の人情や風習など非日常を満喫しながら、学生ならではの発想を地域に提案していただけることを期待しています。宇佐市は、別府・湯布院に隣接し、良質な温泉が多数有。また、受入期間中は、岳切溪谷や東椎屋の滝等の涼スポットやブドウ狩りなども楽しめます。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 宇佐市	担当部署 経済部 観光まちづくり課 コミュニティ係
(ふりがな) いしかわ よしあき	TEL: 0978-27-8170 (直通)
担当者氏名 石川 義昭	FAX: 0978-32-2324
E-mail: tiiki04@city.usa.oita.jp	
URL: <a href="http://www.city.usa.oita">http://www.city.usa.oita</a> 又は <a href="http://www.oct-net.ne.jp/fukami/">http://www.oct-net.ne.jp/fukami/</a>	
応募宛先 〒872-0481 大分県宇佐市安心院町矢畑 442 番地の 2 深見地区まちづくり協議会 0978-44-4544	

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-84 : 宮崎県<sup>しいばそん</sup>椎葉村 (人口: 2,683人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR日豊本線 日向市駅下車 宮崎交道路線バス 役場前バス停</li> <li>・ 熊本空港から車で2時間</li> </ul>
--

(2) 事業実施の目的等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在住の地域活性化に取り組む意欲がある人と地域外の人が協働で取り組む事により、人材育成と地域活性化、ローカルベンチャーや関係人口の創出などを図る。</li> </ul>
--

(3) 体験の内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在住者や地域おこし協力隊が設定した地域活性化に関する取り組みを協働で長期にわたって取り組む「秘境で種から育てる交流事業」</li> <li>4～5月 募集テーマの公表、参加者の公募(椎葉村HP等で公表)</li> <li>6～7月 メンバー選出、キックオフ会議</li> <li>7～8月 4名程度のチームを組み、現地やWEB会議でのプランニング、プレゼン</li> <li>9月以降 提案が採用されれば提案内容をチームで着手(現地での活動あり)</li> </ul>
---

(4) 受入主体

椎葉村
-----

(5) 受入期間

7月1日～ 3月20日の間で不定期に2回程度(一週間程度/回)
---------------------------------

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	現地までの交通費: 自己負担(一部助成を検討中) 宿泊費: 自己負担(一部助成を検討中、簡易宿泊施設など低料金の場合を準備) 食事代: 自己負担(一部助成を検討中)
① 要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方での地域活性化に関心がある方</li> <li>・ 秘境へ行ってみたい方</li> </ul>
② 応募締切り	募集案内を平成30年5月に椎葉村ホームページにて掲載。 6月初旬締め切り予定
③ 宿泊施設	村内の宿泊施設(簡易宿泊施設)
④ 食事形態	自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

<p>椎葉村は日本三大秘境と呼ばれる山深いところですが、それ故に他にはない貴重な自然や文化などが残されています。そうした資源を後世に残す事と、これからの地方のあり方を現場で実践し考えていく場になればと思っています。</p>
---

(8) お問い合わせ先

自治体名 椎葉村	担当部署 地域振興課 企画グループ
(ふりがな) しいば ゆたか 担当者氏名 椎葉 豊	TEL: 0982-67-3203 (直通) FAX: 0982-67-2825
E-mail: shbwebm@vill.shiiba.miyazaki.jp	
URL: http://www.vill.shiiba.miyazaki.jp/	
応募宛先 〒883-1601 宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福良1762-1 椎葉村役場 地域振興課 企画グループ	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-85 : 鹿児島県肝付町 (人口: 15,774人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

【空】鹿児島空港から→空港連絡バスに乗車(約2時間)→東笠之原下車  
【電車】JR鹿児島中央駅下車→鹿屋市直行バスに乗車(約2時間)→東笠之原下車。  
【車】大隅縦貫道 笠野原IC下車。  
いずれも体験場所までは車でさらに約1時間かかります。  
公共交通機関が限られているため、この先の交通手段については個別に相談に応じます。

## (2) 事業実施の目的等

(1) 肝付町岸良地区で受け継がれる町指定無形民俗文化財「平田神社の神舞」と伝統芸能「ナゴシドン」の継承  
(2) 伝統芸能の継承に向けた地区内外の人的交流による地域の活性化

## (3) 体験の内容

地域の伝統芸能・文化に興味のある町内外の方々を、「平田神社の神舞の舞手」または「運営ボランティア」として募集します。「神舞の舞手」参加者は、地域住民の指導のもと、岸良地区に滞在しながら神舞の習得に向けた練習に取り組んでいただき、8月14日の「ナゴシドン」で舞手を務めていただきます。「運営ボランティア」参加者は、スタッフの指示のもとで「神舞の舞手」参加者の練習や滞在中のサポートをお願いします。どちらの枠も、体験の過程で参加者同士や地域住民との交流を通じて、地域文化への理解が深まる内容です。

## (4) 受入主体

ナゴシドンのつなぎ手

## (5) 受入期間

8月8日(水)～8月15日(水)  
8日間(応相談)

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者の自己負担 宿泊費・食事代：参加費お一人1万円(体験料および滞在に係る経費として)
① 要件	①心身ともに健康である。②定められたプログラムに積極的に参加できる。③他の参加者や神舞の教え手、地域住民等との交流に抵抗がない。④真夏の暑さの中での練習をこなす体力がある。
②応募締切り	平成30年7月中旬
③宿泊施設	検討中
④食事形態	検討中
⑤その他	検討中の事項やその他の詳細については、HP( <a href="https://www.nagoshidon.com/">https://www.nagoshidon.com/</a> )をご参照ください。

## (7) 地域担当者から一言

平成28年度から地域おこし協力隊が中心となって実施している取組であり、地域の伝統芸能・文化に触れる機会となる他、田舎の暮らしを丸ごと体験いただける内容となっております。

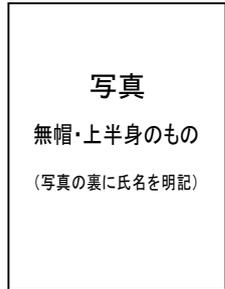
## (8) お問い合わせ先

自治体名 鹿児島県肝付町	担当部署 産業創出課内 ナゴシドンのつなぎ手事務局
(ふりがな) たなか あやね 担当者氏名 田中 綾音	TEL: 0994-67-4531(直通) FAX:
E-mail: <a href="mailto:nagoshidon@gmail.com">nagoshidon@gmail.com</a>	
URL: <a href="https://www.nagoshidon.com/">https://www.nagoshidon.com/</a>	
応募宛先 〒893-1402 鹿児島県肝属郡肝付町南方2643 肝付町役場内之浦総合支所 産業創出課内 ナゴシドンのつなぎ手事務局	



平成 年 月 日 現在

**募集地域参加申込書**



1. お名前：<sup>ふりがな</sup> \_\_\_\_\_ ( 男・女 )
2. 生年月日：西暦 年 月 日 (出身地： \_\_\_\_\_ )  
\* 都道府県で記入

3. (大学、大学院、専門学校等に在学の場合に記入)  
学校、学部名： \_\_\_\_\_ ( ) 年
- \* 学部、学科、専攻などを明記してください (在学中の方は学年も記入してください)。

研究テーマ等： \_\_\_\_\_

\* 卒論または現在研究中のテーマがある場合は記入してください。

4. 資格・特技・趣味など (選考の参考になりますので、体験内容に係るものは必ず記入してください。)

5. 自己PR

6. 住 所  
〒 \_\_\_\_\_

連絡先：選考などに関して、募集地域などから連絡を行う場合があります。  
(『Eメール(携帯)』で、ドメイン指定受信を設定している場合、希望するNo.自募集地域からのメールが受信できるようあらかじめ設定をお願いいたします。)

電話(自宅)： \_\_\_\_\_ Eメール(PC)： \_\_\_\_\_

電話(携帯)： \_\_\_\_\_ Eメール(携帯)： \_\_\_\_\_

※ご記入いただいた内容は当事業以外の目的で使用しません。

◆小論文記入用紙◆

テーマ：①インターン事業に期待すること ②地域に対して自分が貢献できそうなこと

氏名： \_\_\_\_\_

① インターン事業に期待すること

②地域に対して自分が貢献できそうなこと（例、得意技、得意テーマ、体力、熱意など）

\*各テーマ400字程度でまとめてください。  
\*できるだけワープロ打ちをお願いします。（貼付又は別紙可）



**連絡先**

国土交通省 国土政策局 地方振興課

〒100-8918 千代田区霞が関2-1-2

電話：03-5253-8404 FAX：03-5253-1588

URL：[http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd\\_chisei\\_tk\\_000007.html](http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html)

